

# 教科書の のぞいてみませんか？

## 内容解説資料

2020年度用 小学校生活科教科書

わくわく せいかつ 上

いきいき せいかつ 下



啓林館

この資料は、2020年度用小学校教科書の内容解説資料として、  
一般財団法人教科書協会「教科書発行者行動規範」に則って作成しています。



生活科の教科書には、明日からの授業がもっと**楽しくなるヒント**がたくさん詰まっています。今日はゆっくり教科書のぞいてみませんか？

# 教科書は、**学びの宝箱**。

げんきに そだて  
わたしの はな

じぶんではなを そだてた  
ことは あるかな？

がっこうでもそだてたいな。

ようちんで  
ちゅうりっぷを  
そだてたよ。

ほいくしよで ひまわりが  
さいていたよ。

できるかな できたかな？

生きものの 気持ちを  
かんがえて やさしく できたよ。



生きものが もっと  
すきになったよ。



ひろがる  
きもち

いへの 人にも  
はなそう。





編集の基本方針	4
教科書の構成	6
教科書の5つの特色 ★	
1 3段階構成	12
2 めくり言葉	14
3 スタートブック	16
4 ステップブック	20
5 豊富な資料	22
教科書紙面のサンプル	
わくわく（単元導入）	26
いきいき（主な活動）	30
ぐんぐん（ふり返し）	32
がくしゅうずかん（巻末資料）	34
学習指導要領のキーワードと大切にしたこと	
1 主体的・対話的で深い学び【やってみよう！単元導入】	40
2 主体的・対話的で深い学び【気づきの質が高まる学習活動】	42
3 主体的・対話的で深い学び【言語能力の育成】	44
4 資質・能力の3つの柱	46
5 社会に開かれた教育課程	48
6 QRコンテンツ	49
7 カリキュラムデザイン	50
8 教師の手立てが見てわかる	52
9 防災教育・学校安全	54
10 衛生面	56
11 健康面	56
12 環境教育・ESD	57
13 伝統や文化に関する教育	57
14 人権や福祉	58
15 インクルーシブ教育	58
観点別特色一覧表	59
学習内容一覧表	73
年間活動計画表	74
教師用指導書のご紹介	76
学習者用デジタル教科書のご紹介	78

わくわく せいかつ 上  
いきいき せいかつ 下



## 編集の基本方針

# 子どもたちの 学びをつなぐ 未来をひらく

～心豊かに、たくましく、新しい時代を生き抜く力を育てるために～

これからの新しい時代を生きる子どもたちの自立と共生に向けて、必要な資質・能力を育むと共に、他者への共感や優しさ、思いやりなど豊かな人間性を育むため、身近な人々、社会や自然と繰り返し関わる体験や活動を大切にしました。また、子どもが自分のよさや可能性に気づき、生涯にわたって学び続ける力を育成できるよう編集しています。

## めざす子ども像

### 夢中になる子ども

思いや願いを強くもち、  
夢中になって学びに向かう子ども

### 学びを創る子ども

他者と協力して、  
主体的に学びを創り出す子ども

### 共に生きる子ども

人や自然、社会と関わりながら、自分の  
生活をより豊かにしようとする子ども

子どもが「わくわく」して何度も見たくなる教科書にしました。加えて、これまでの経験を生かして、次にやってみたいことを考え、自らの成長に気づきながら「いきいき」と生活できるようになる教科書を目指しました。そして、思いを素直に表現し、すすんで交流することで、それら一連の意味のある出来事として捉えたり、自己理解を一層深めたりしながら「ぐんぐん」と成長できる教科書になるように構成しています。

子どもが、痛ましい災害、事故等に巻き込まれることなく笑顔で育っていくことが、私ども大人の望みであり、使命です。ぜひ、先生方のみならず、保護者の方や地域の方など、子どもたちに身近な大人の方たちにも手にとっていただき、子どもの学び、成長をどのように支えていけばよいか、ともに考え合える教科書になればと、切に願っています。

編集委員長 寺尾 慎一  
(元福岡教育大学 学長)



## 特色①

学びのプロセスが分かる  
3段階構成



## 啓林館の5つの特色

## 特色②

思いや願いがつながる  
めくり言葉



## 特色③

上巻の巻頭には、  
スタートブック



## 特色④

下巻の巻末には、  
ステップブック



## 特色⑤

確かな学びへ導く  
豊富な資料





# 子どもの学びと育ち

# をつなぐ教科書



## 上巻は「学校」を主として

すたあとぶっく  
がっこうだいすき あいうえお ..... ①

いくぞ！がっこう たんけんたい ..... 2

げんきに そだて わたしの はな ..... 20

あそびばに でかけよう ..... 34

なつと なかよし ..... 44

生きもの だい 大すき ..... 58

あきと なかよし ..... 72

ひろがれ えがお ..... 86

ふゆと なかよし ..... 98

もう すぐ 2年生 ..... 108

がくしゅうずかん ..... 119

## 下巻は「地域」を主として

あたらしい こと いっぱい ..... 2

おお 大きく そだて わたしの 野さい ..... 12

とびだせ！ 町の たんけんたい ..... 26

みんな 生きて いる ..... 42

せかいで ひとつ わたしの おもちゃ ..... 58

もっと 知りたい たんけんたい ..... 72

町の すてき つたえたい ..... 86

これまでの わたし これからの わたし ..... 98

がくしゅうずかん ..... 109

ステップブック  
みらいにむかって ..... ①



上巻の巻頭には  
**スタートブック**  
「がっこうだいすき あいうえお」  
がついています。



詳しくは p.16 ←

下巻の巻末には  
**ステップブック**  
「みらいにむかって」  
がついています。



→ 詳しくは p.20





子どもにとって学びやすく

教師にとって教えやすい

小单元名  
具体的な学習活動

わくわく

いきいき

ぐんぐん

3段階構成  
わくわく・いきいき・ぐんぐんの3段階構成で単元の流れを示しています。

本文  
活動の見通し

衛生面への配慮  
アイコンで分かりやすく示しています。

いきいき

生きもの  
ふれあおう

なかよしになれるかな。

ようしつで  
だてたいね。

どんな  
せわが  
ひつようかな？

でを  
あらおう

はじめては  
こわかったけれど  
いまは  
かわいいな。

かくしゅうずかん  
70〜71  
ページ

げんきに  
そだって  
ほしいな。

たい  
大せつないの  
ちだから  
やさしく  
してね。

ここに  
こひょうた  
9 がつ 22 にち なまえ もり しょうた  
1 おん 1 くみ

ショウリョウバッタのひょうたは  
びんびんとびます。つかまえた  
ところにあったススキをあげたら  
ここはこしているようにみえたよ。  
よろこんでいるのかな。

生きものがもつとすきになったよ。

63

各種コーナー  
安全、公共のマナーなど生活に必要な知識・技能を掲載しています。

キャラクター  
気づきのヒントや安全上の留意点などを示しています。

めくり言葉  
活動の連続性や広がりをサポートし、スパイラルに深い学びを実現できるように、右下の「めくり言葉」で次の活動への思いや願いの例を示しています。

カード  
入学当初から段階的に、絵のみ、3行程度、5行程度と文章量を変化させ、発達段階に応じた例となるように配慮しています。



# 新しくなった教科書の魅力って？

2020年 春

え...!?

私が1年2組の担任ですか？

さとう 先生  
教員2年目

この前まで幼稚園や保育所にいた子どもたちか...

学習指導要領も変わったし...

※去年は5年生を担当。

暗い顔してどうしたの？

生活科 やったことない...

はじめての1年生担任が不安で...

どうやって話したらいいの??

私にできるかな?

心配なくて大丈夫！

はい。新しい教科書。

教頭先生  
教員31年目

教頭先生！

がんばりにそだてられたのはな

わあ！写真がキレイで楽しそうですね。

子どもがわくわくする仕掛けがたくさんあるよ。

楽しそうだけど...どうやって授業したらいいのかしら。

大丈夫！

この教科書には授業のヒントがいっぱいだよ。

たとえば...

紙面は

- わくわく(導入)
- いきいき(主な活動)
- ぐんぐん(ふり返り)

の3段階に分かれているんだよ。

あ！

本当ですね！

この3段階は生活科の学びのプロセスに合っているんだ。

なるほど！わかりやすい。

わくわく ① 思いや願いをもつ。  
いきいき ② 活動や体験をする。  
ぐんぐん ③ 感じる・考える。  
④ 伝え合う・ふり返る。

これはスタートカリキュラムのページだよ。

次ページから詳しく特色を説明するよ！

なんだか楽しみのなってきました。

そう！子どもも、教師も保護者も安心の教科書なんだ。

幼児教育との接続ですか？

教科書の特色

教科書紙面のサンプル

学習指導要領のキーワードと大切にしたこと

観点別特色一覧表



# 学びのプロセスがわかる 3段階構成

- 生活科の**学びのプロセス**を考慮して活動の流れを分かりやすく示しています。
- 繰り返し学習することで、**学びの基礎が身につく**構成です。
- 総合的な学習の**探究のプロセス**に繋がります。

わくわく → いきいき → ぐんぐんの3段階構成は、生活科の学びのプロセスを考慮して活動の流れをわかりやすく示しています。活動の流れを明確化することで、多様な子どもにもわかりやすい構成となっています。

思いや願いを持つ

活動や体験をする

感じる・考える

伝え合う・ふり返る

## 単元導入

### わくわく

子どもの「やってみたい!」を刺激するダイナミックな写真や問いで構成しています。



## 主な活動

### いきいき

見る、聞く、触れる、作る、探す、育てる、遊ぶなどして対象に直接働きかける学習活動を大切にしています。



## 表現活動

### ぐんぐん

他教科等との関連を図りながら、言葉・絵・動作・劇化など多様な表現活動を例示しています。



主体的・対話的で  
深い学びにつながる。



# 思いや願いがつながる めくり言葉

子どもの思いや願いが次の活動につながるように、紙面右下にめくり言葉を設定しています。  
活動が単発的にならず、気づきが繰り返し深まる構成です。また、次の活動への期待感が高まり、子どもの主体性を育てることにもつながります。「もっとこうしたい!」という**思いや願いの連続性**を大切にしています。

- 子どもの**思いや願いの連続性**を大切にしています。
- 活動が繰り返し深まり、**気づきの質**を高めます。
- 見通しを持って粘り強く取り組む「**主体的な学び**」を実現できます。

## 小单元名

具体的な学習活動

自分で おもちゃを  
作って みよう

あそび方や ルールを  
くふうしよう

みんなで  
楽しく あそぼう

めくり言葉

活動の中で生まれた気づきや、  
次の活動への思いや願い

思いや願いが  
次の活動につながる。

どうしたらもっと楽しくなるかな。

みんなでいっしょにあそびたいな。

63

65

67

62



# 上巻の巻頭には、 スタートブック

- 「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿(10の姿)」を踏まえたスタートカリキュラムです。
- 幼児教育の専門家や指導者が編集委員として執筆や監修をしています。
- 子どもたちの「安心感」を大切に、**学びに向かう力**を育てます。



小寸 p.1

## 絵本のような紙面

紙面のサイズを小寸サイズにし、角を丸く裁断しています。



1年生の子どもたちが  
わくわくするように  
心がけました！



## 幼児教育の成果を生かす スタートカリキュラム

「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿(10の姿)」を踏まえて、  
一人一人の子どもが自信をもって自己を発揮し、安心して学校生活を始められるように、  
スタートカリキュラムへの手がかりを丁寧に示しました。



### ポイント1 幼児期の写真からはじまる「すたあとぶっく」

子どもにとっては**安心感**につながり、教師にとっては**幼児教育の成果を生かす指導**の参考になります。



たくさんのともだちが  
あつまって きたね。





ポイント2 学びに向かう力を育む



幼児期における遊びを通した総合的な学びから、各教科等における学習に円滑に移行できるよう、幼児期に親しんだ遊びや歌を取り入れた活動や、生活科を中心とした合科的・関連的な学習活動の例が充実しています。

各教科への円滑な移行ができる  
合科的・関連的な学習活動

子どもの心と体をほぐす

幼児期に親しんだ活動



すきな くだものは  
ぶどうです。

よろしくね。



ポイント3 教師の支援がわかる

幼児期の学びや育ちを大切に、  
学びに向かう力を育てるための  
教師の姿勢が紙面を通して分か  
るように編集しています。



小寸 p.9

ポイント4 ICT の活用

お手持ちのタブレットPCやスマートフォンでQRコード  
を読み取ると、幼児期に親しんだ歌や手遊びの動画が  
 閲覧できます。



ポイント5 スタート  
カリキュラム指導書

スタートカリキュラムに特化した別冊の指導書を作成し  
ました。基礎～実践事例まで、先生方の指導をサポート  
します。



ポイント6 保護者も安心

単元冒頭の保護者へのメッセージで  
は、スタートカリキュラムの意義や期待  
する子どもの姿を示しています。

保護者の皆様へ

期待に胸を膨らませている子ども、少し緊張した子ども、不安で今にも泣き出しそうな子ども、さまざまな1年生がいます。全ての子どもたちが楽しく安心して小学校生活を始められるように、入学当初には、「スタートカリキュラム」という取組が実施されています。スタートカリキュラムでは、入学までの生活経験や学びを生かしながら、歌や遊びを取り入れた活動を行ったり、生活科を中心に国語や算数などのいくつかの教科をあわせた合科的・関連的な指導を行ったりします。

本書は、このスタートカリキュラムを丁寧に扱い、子どもたちが「明日も学校にきたい!」という意欲を高められるよう、巻頭部分を工夫しています。

※アプローチカリキュラムに関わる写真は富山市・伊丹市、スタートカリキュラムに関わる写真は横浜市で撮影しています。



# 下巻の巻末には、 ステップブック

- 中学年以降への円滑な接続に繋がります。
- 2年間の生活科を振り返ることで自信と希望をもって3年生に進学できます。
- 自分の成長や学ぶ楽しさを実感することで**学びに向かう力**を育みます。



## 絵本のような紙面

上巻のスタートブックと同様に、紙面サイズを小寸サイズにしています。学びの入り口と出口が分かりやすい構成です。



## 中学年以降への接続と キャリア教育への手がかりに

この単元は、2年間の生活科での学びや出会いをふり返る中で、満足感や達成感を感じ、**意欲と自信をもって、これからの生活をおくってほしい**と願い新設しました。

中学年以降の教科への期待感だけでなく、**低学年におけるキャリア教育**で大切な「好きなこといっぱい できることいっぱい 学校って楽しいな」という視点にも十分配慮しています。



深い学びや総合的な学習の時間の探究のプロセスにつながる下記の資料を巻末の「がくしゅうずかん」で一連の流れとして掲載しています。

しらべよう

記ろくしょう

友だちと考えをふかめよう

まとめよう つたえよう

- 子どもの**主体的な学習**と**教師の確かな指導・支援**をサポートします。
- 基本的な**知識及び技能**や**学び方**が身につきます。
- **個に応じた指導**や**理解の程度に応じた指導**が行いやすくなります。

き  
気をつけよう !

危険な生き物

安全教育

スズメバチ

チャドクガのようちゅう

下巻 p.47

こんなとき どうしよう !

ルール・マナー

上巻 p.39

# 主体的な学習と 教師の支援をサポート

必要に応じて活用できる汎用性の高い資料は、巻末の「がくしゅうずかん」にまとめました。学習の中で必要な資料は、各単元の紙面に「気をつけよう」や「こんなときどうしよう」のコーナーとして掲載しています。



# 生活科と幼児期の終わりまでに育ってほしい姿

編集委員：木下 光二（鳴門教育大学大学院教授）

小学校学習指導要領、幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼  
保連携型認定こども園教育・保育要領などの改定において、それ  
ぞれの総則に、接続の重要性や「幼児期の終わりまでに育ってほし  
い姿」を育てることが明記されました。特に、幼児期の終わりま  
でに育ってほしい姿は、幼児期や児童期初期の遊びや学びを明確  
にし、生活科の生活化を図るためにもとても重要です。

今はまさに、生活科が幼児期と児童期をつなげる重要な役割と  
して求められています。

啓林館の教科書の上巻「すたあとぶっく」は、幼児期の写真か  
ら始まります。その中の1枚の写真が語っている“**わたげをうえて  
います**”をもとに述べてみたいと思います。

ある年の春のことでした。幼稚園の5歳児の花壇に少し傾いた  
立て札が立っていました。興味を覚えて覗いてみると、文字が書か  
れていました。読んでみると、「わたげ…」までは読めたのですが、  
次に書かれているいくつかの文字がわかりませんでした。担任の先  
生に尋ね、書いた幼児と話すことができました。

「これ、何て書いてあるのかな？」と尋ねると、「わたげをうえて  
います。お願いだからふまないでください」と教えてくれました。  
なるほど、「わたげをうえています」と書いてあったのです。写真で  
もわかるように「お」「え」「て」は字形が違ってきますし、「ま」は、  
鏡文字になっています。しかも、「お願いだからふまないでください」  
の文字はどこにも見当たりません。そこで、もう一度尋ねてみました。  
すると、今度も真剣な表情で、「わたげをうえています。お願いだ  
からふまないでください」と教えてくれました。「お願いだからふま  
ないでください」は、書かれてはいないのですが、幼児の中では、「わ  
たげをうえています」の中に、その意味がちゃんと含まれているの  
です。彼が伝えなかったのは、「お願いだからふまないでください」  
ということだったのでしょう。



春になり、どこからか飛んできたわたげを拾い、種であることを  
知った幼児は、幼稚園の花壇に植えました（自然との関わり・生命  
尊重）。そして綿毛が誰にも踏まれず、無事に育つように願いを込  
めて立て札を作りました（自立心、社会生活との関わり、道徳性・  
規範意識の芽生え）。木材をT字型に組み、2本の釘を打ち付け、  
そこに自分の気持ちを文字にして表現しました（思考力の芽生え、  
文字等への関心・感覚、言葉による伝え合い）。何気ないエピソード  
ですが、植物や自然に寄せる優しい思い、文字を自分の思いを  
伝える効果的な伝達手段であると認識し自ら行動を起こした自発  
性や創作意欲などは、まさに「幼児期の終わりまでに育ってほしい  
姿」に当てはまります。いかがでしょうか？この1枚の写真にはこ  
のようなメッセージが込められているのです。

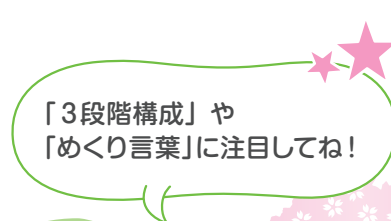
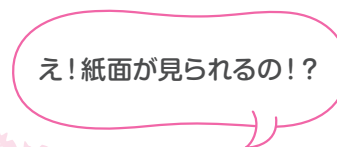
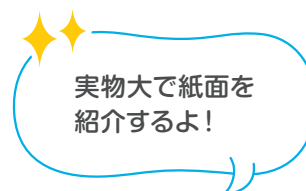
啓林館の教科書に掲載されている写真1枚1枚に、このような  
メッセージが込められています。柔軟で弾力的で豊かな学習や活動  
を創るためにも、幼児期の教育を取り入れ、主体的・対話的で深  
い学びを生活科で創る必要があります。啓林館の教科書では、そ  
の期待に十分に答えられるよう、幼児教育の発想をふんだんに取り  
入れて作成しました。新しい教育の一助となることを願ってやみま  
せん。



## 教科書紙面のサンプル

上巻 生きもの大すき（単元） ..... 26

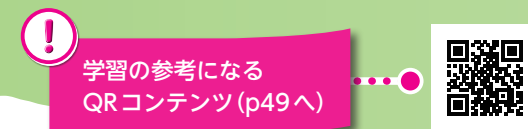
下巻 がくしゅうずかん（巻末資料） ..... 34





# 生きもの大好き

わくわく  
心をつかむ  
単元導入!



! 活動を引き出す発問例



……どんな生きものをしているかな?



ほいくしょには  
ウサギがいたよ。

わたしのいえには  
イヌがいるよ。

! 子どもの日常生活から  
単元が始まる様子の例示



学校にも生きものがいたよ。



ご指導される先生方へ：学習をはじめる前に、児童のアレルギーの有無(動物や昆虫など)について保護者の方にご確認ください。



！ わくわくボックス NEW

新しい教科書では、導入を強化しています。導入で  
思いや願いを強くもち、活動を自分の事として捉える  
ことができると、その後の主体的な学習が生まれます。

# わくわく ボックス

生きものに  
あいにいこう

わくわくボックス  
やってみたい  
を高める



？  
生きものは どこに いるかな



！ 子どもの好奇心を高めるしかけ

実物大図鑑や、書き込みができるページなど、  
単元によって様々な工夫をしています。



ねんせい  
5年生の きょうしつには  
メダカが いたよ。

みんなで さがしに  
いこうよ。

なかにわで  
バッタを 見たよ。

がっこう  
学校たんけんて  
ウサギを 見つけたね。

ウサギの  
うち



生きものに さわる  
まえや さわった あとは  
手を あらおう。

！

衛生面への配慮





# 生きものとの ふれあおう

なかよしになれるかな

いきいき  
子どもが  
輝く学習活動

いき  
いき



！  
巻末の学習図鑑への  
参照で、主体的  
な学びをサポート



げんきに そだって  
ほしいな。



！  
気づきのヒントを与える  
キャラクターの投げかけ

たい  
大せつな いのちだから  
やさしくしてね。



きょうしつで  
そだてたいね。

どんな せわが  
ひつようかな？

！  
教師の支援の例示



上巻 p.62-63



はじめは こわかったけれど  
いまは かわいいな。

！  
発達段階に応じた表現の例示

にこにこ ひょうた

9 がつ 22にち なまえ もり しょうた  
1 ねん 1 くみ



ショウリョウバッタの ひょうたは  
ひょうひょうとびます。つかまえた  
ところにあった ススキを あげたら  
にこにこしているようにみえたよ。  
よろこんでいるのかな。

生きものがもっとすきになったよ。



31



# み 見つけた ことを しょうかいしよう

ぐんぐん みんなは しっているかな。



ぐんぐん  
ふり返りで  
確かな学びへ



合科的・関連的指導  
の例を示すマーク

がくしゅうずかん  
120~127  
ページ

自己評価の  
視点の例示

できるかな できたかな？



学習を通して学んだことを  
生活に生かしたり、広げたり  
していこうとする姿の例示





# き 記ろくしよう



## カードの かき方

やっと ミニトマトが できたよ

7 月 11 日 名前 さか本 なつみ  
2 年 1 組

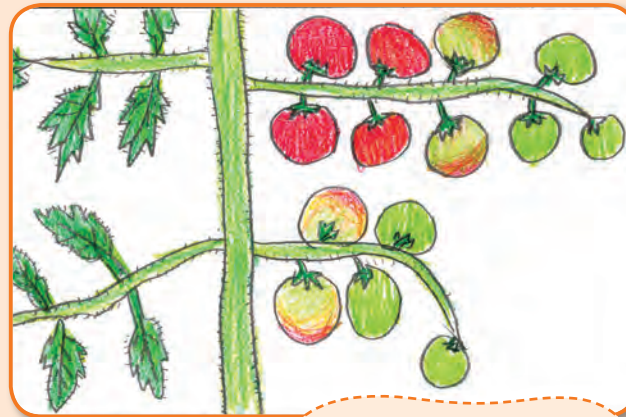
見た 聞いた におった さわった 思った

ミニトマトが4こもとれました。ミニトマトは上のほうから赤くなることがわかりました。花が かれるのは かなしいけれど、み なるのは うれしいです。赤くて らいみは とても かわいいです。

だい名を かこう。

ひ づけと じぶん の 名前を かこう。

けん はっ 見た ことを おお 大きく えに かこう。



いろ かたち 色や 形を よく 見て かくと いいね。



けん はっ 見た ことを くわしく かこう。

み 見つけた こと

み 見つけた もの

み 見つけた 場所

わかった こと

おも 思った こと

かんが 考えた こと

### ことばの ヒント

かたち 形

まる 丸い, し かく 四角い, ぎざぎざ

て 手ざわり

ざらざら, つるつる, さらさら, だるだる

くらべる

～と～を くらべると, まえ 前と くらべると

たどる

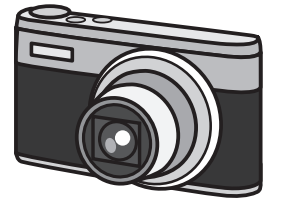
～みたいに 見える, ～みたいな 形

## しゃしんや どう画を とろう

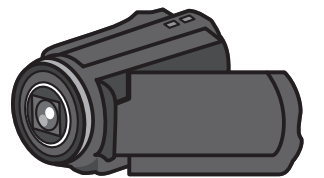
- デジタルカメラ, タブレットたんまつ, ビデオカメラで しゃしんや どう画を とろう。
- しゃしんや どう画を とるときは あい手 に さつえいして いいか たずねてから とろう。



タブレットたんまつ



デジタルカメラ



ビデオカメラ

こわれない ように ていねい に つかおう。

## きろくした ものを せいりしよう

### とじる



カードや さくひんを じゅんばんに ならべる。



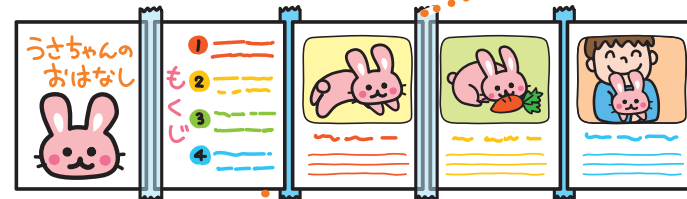
ひょう紙を 作って パンチで あなを あける。



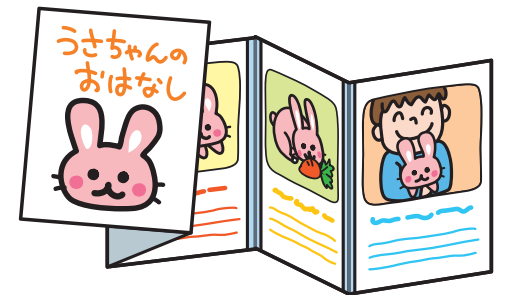
リボンで とじる。

### おりたたみ 絵本

おもてから テープで とめる。



うらから テープで とめる。



こうごに おりたたむ。





# とも かんが 友だちと 考えを ふかめよう

## みんなで 話し合おう

話す ことで 友だちの 考えている ことが  
よく わかるよ。 友だちの い見を 聞くと  
自分の 考えも ふかまるよ。

- 話し合う めあてを きめよう。
- 友だちの 話を よく 聞こう。
- 自分の い見も 言おう。
- みんなの い見を 出し合おう。



！ しらべよう、記ろくしよう、まとめよう、つたえようなど、豊富な資料が巻末の「がくしゅうずかん」に集められています。

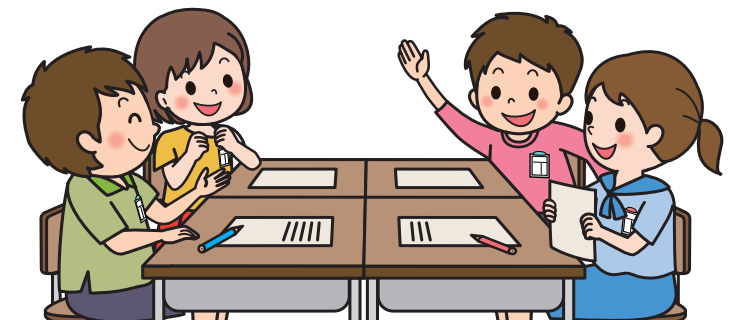
## 話し合いの ヒント

自分の 考えを もとう



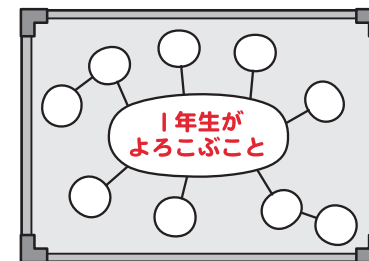
みんなで 話し合う 前に  
自分で 考えて みよう。

みんなの 考えを 出し合おう

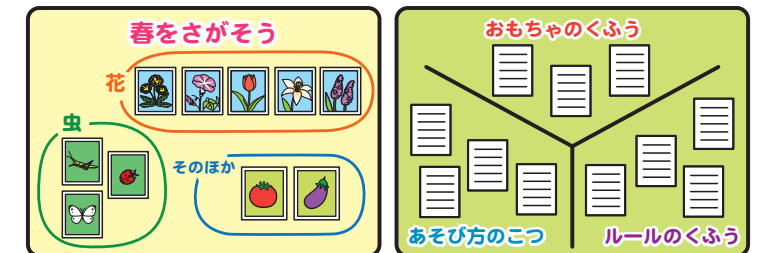


自分の 考えと 友だちの 考えを くらべながら  
考えを 出し合うと わかりやすいよ。

かんが 考えを ひろげよう



なかにまに 分けよう



じゅん ばん 番をつけよう



- ・じゅん ばん 番をつけると みんなが つたえたい ことが わかるよ。
- ・どうして その じゅん ばん がいいと 考えたかの 理由も はな 話すと いいよ。

みんなで かんが 考えると 自分の じゅん ばん 考えが ふかまるね。





# 新しい学習指導要領にもぴったり！



## 学習指導要領のキーワードと大切にしたこと

1	主体的・対話的で深い学び〔やってみよう！単元導入〕	40
2	主体的・対話的で深い学び〔気づきの質が高まる学習活動〕	42
3	主体的・対話的で深い学び〔言語能力の育成〕	44
4	資質・能力の3つの柱	46
5	社会に開かれた教育課程	48
6	QRコンテンツ	49
7	カリキュラムデザイン	50
8	教師の手立てが見てわかる	52
9	防災教育・学校安全	54
10	衛生面	56
11	健康面	56
12	環境教育・ESD	57
13	伝統や文化に関する教育	57
14	人権や福祉	58
15	インクルーシブ教育	58







わくわくの扉

わくわくの扉は、子どもの経験や体験を大切にしながら日常生活から生活科がはじまるよう編集しました。一人ひとりの子どもが思いや願いをもつこと、学びの見通しをもつことが、その後の主体的な学習活動につながります。



上巻 p.20-21

魅力あふれる単元導入が、  
子どもたちを直接体験へと誘いこむ。

新しい教科書では、  
単元導入を強化  
しました！



わくわくボックス

わくわくボックスには、「なぜだろう？」「ふしぎだな」「楽しそう！」と子どもの心を揺さぶり、「やってみたい」「～したい」という思いや願いを高める学習活動を設けています。



上巻 p.60-61



# 主体的・対話的で深い学び 気付きの質が高まる学習活動



## 多様な学習活動

見付ける

比べる

たとえる

試す

見直す

工夫する

気付いたことを基に考えるための、見付ける、比べる、たとえる、試す、見直す、工夫するなどの多様な学習活動の例を写真・表現物・イラスト・子どもの台詞などで示しています。

あそび方やルールをくふうしよう

みんなで楽しくあそびたいね。

どれがはやいかくらべてみよう。

くらべる

やっとうまくとんだよ。

ためす

1本より2本のほうが高くなると思うよ。

とく点があると楽しくなるね。

くふうする

くふうするとどんどん楽しくなるね。

このおもちゃの楽しさをみんなにつたえたいな。

みんながいつしよにあそびたいな。

下巻 p.64-65



## 協働的な学び

子どもたちが対話によって自分の考えを広げたり、深めたりする場面を設定しています。

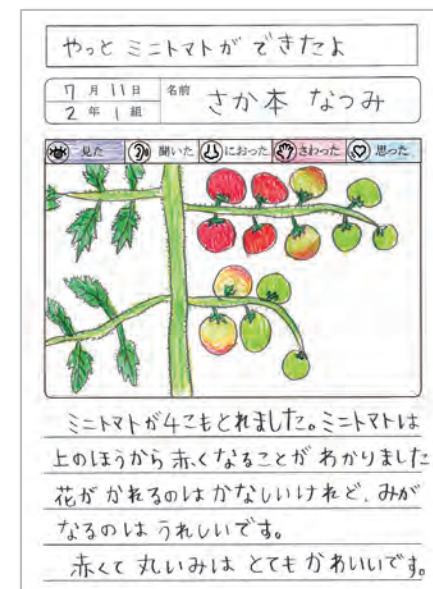


ステップブック p.3



## カード

子どもの発見や感動を例示しています。



## キャラクター

気付きを促したり、疑問を投げかけたりなど、子どもの活動を適切に支援しています。





# 主体・対話的で深い学び 言語能力の育成

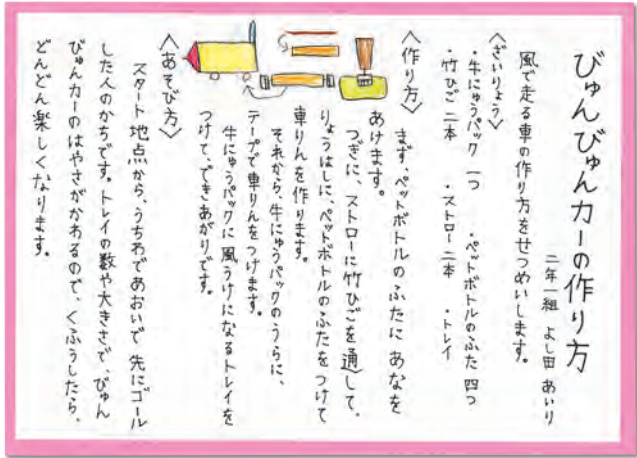
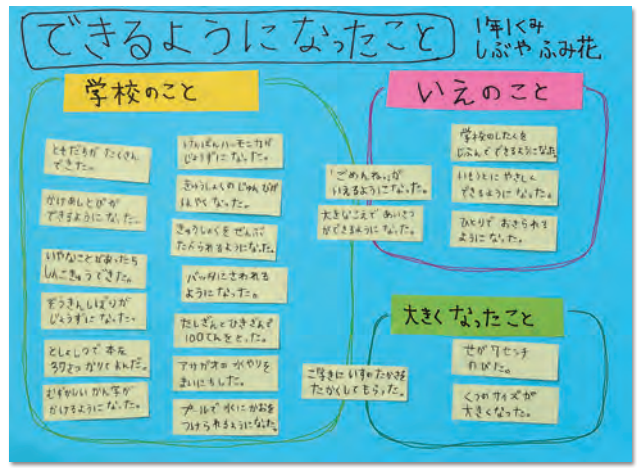
低学年の子どもは、自分の思いや考えを表現していく中で、学んだことを認識して深めていきます。発達段階や他教科等との関連、中学年以降への接続など、さまざまなことに配慮して系統的に言語活動を設定しています。



バッタは こんな  
ふうにとぶよ。



低学年だからこそ  
育てたい表現力が、ここにある。



単元名	表現活動
いくぞ!がっこう たんけんたい	・絵だけのカード ・絵と文字2行のカード ・発表(複数人で前に出る)
げんきにそだて わたしのはな	・「いくつ はなが さいたかな」カード[算数] ・伝え合い(2人) ・あさがおの種ぶくろ ・絵本(リボンで綴じる) ・クイズ ・賞状(自己肯定感を高める)
あそびばに でかけよう	・絵と文字3行のカード ・伝え合い(2人) ・発表(ICT 機器, 1人で前に出る)
なつとなかよし	・黒板の活用(分類) ・造形遊び[図画工作] ・絵[図画工作] ・絵日記[国語]
生きもの 大すき	・発表(ICT 機器) ・発表(ペープサート) ・絵[図画工作] ・身体表現[体育] ・リズム表現[音楽, 体育]
あきとなかよし	・諸感覚を使ったカード ・おもちゃづくり[図画工作, 理科] ・交流活動
ひろがれえがお	・黒板の活用(Yチャート) ・手紙[国語] ・年賀状[国語] ・お礼の手紙[国語]
ふゆとなかよし	・発表(実物を使う)
もうすぐ2年生	・相互評価 ・ふせんを活用したまとめ ・交流活動(幼児)
単元名	表現活動
新しいこと いっぱい	・イメージマップ ・あさがおの種ぶくろ ・入学おめでとうメダル ・俳句[国語]
大きくそだて わたしの野さい	・伝え合い(グループ) ・絵本 ・野菜名人へお礼の手紙[国語] ・クイズ(ICTの活用)
とび出せ! 町のたんけんたい	・絵地図[社会科] ・発表(ICTの活用) ・ペープサート ・クイズ
みんな 生きている	・交流 ・クイズ(ICTの活用) ・パズル ・絵本 ・新聞[国語]
せかいでひとつ わたしのおもちゃ	・交流[理科] ・おもちゃの説明文[国語]
もっとしりたい たんけんたい	・絵地図[社会科]
町のすてき つたえたい	・クイズ ・新聞[国語] ・劇 ・招待状[国語, 図画工作] ・交流(地域の方) ・黒板の活用(Yチャート) ・作文[国語]
これまでのわたし これからのわたし	・自分年表 ・相互評価(自己肯定感を高める) ・インタビュー[国語] ・ペープサート ・新聞[国語] ・紙しばい ・まきもの



1 知識及び技能の基礎

こんなときどうしよう

あいさつやマナー、安全上の注意などの基本的な生活習慣や知識及び技能は「こんなときどうしよう」などの各種コーナーで学習できるように工夫しています。

豊富な資料

上下巻末の「かくしゅうずかん」では、調べ方・記録のしかた・話し合いの工夫・まとめ方などが一連で示されたり、道具の使い方・安全上の注意などが示されたりして、基本的な知識及び技能や学び方が身につくよう工夫しています。

こんなときどうしよう！



上巻 p.39

2 思考力、判断力、表現力等の基礎

3段階構成

生活科の学びのプロセスを考慮し、単元導入「わくわく」、主な活動「いきいき」、ふり返り「ぐんぐん」の3段階で構成され、低学年の学びの基礎や探究的な学び方が身につくように構成しています。

多様な学習活動

気付いたことを基に考えるための、見付ける、比べる、たとえる、試す、見通す、工夫するなどの多様な学習活動の例を写真・表現物・イラスト・子どもの台詞などで示しています。

言語活動の充実

言葉、絵、動作、劇化、ICTの活用など多様な表現活動が発達段階や合科的・関連的指導、中学年への接続等に配慮しながら、組織的・系統的に設定されており、思考を深め、豊かな表現力が身につくように配慮しています。

わく  
わく

いき  
いき

ぐん  
ぐん

3 学びに向かう力、人間性等

単元末の「ぐんぐん」紙面では、学習をふり返り、自らの成長や学びの深まりを実感することで、満足感・成就感などの手応えとなり、学習したことを次の学習や生活へ生かそうとする態度を育てます。

できるかな できたかな？

学習を通して気付いたこと、わかったことを主体的に確かめることができるように、活動をふり返る視点の例を示しました。

- ・子どもにとって  
自己評価の視点になります。
- ・先生方にとって  
育てたい子どもの姿を具体的に示しているため、指導や評価に役立ちます。

できるかな できたかな？

なんかい 何回も ためして おもちゃを つくったよ。



みんなて 楽しく あそぶ  
くふうを したよ。



友だちの おもちゃの すてきを  
見つけたよ。



ひろがる  
きもち

ねんせい 1年生を しょうたい  
したいな。

どうしたら ねんせい  
たの 楽しめるかな？



67

下巻 p.67

ひろがるきもち

学習を通して学んだことを、さらに深く学ぼうとしたり、生活に生かしたりしようとする姿を示しています。



# 5 社会に開かれた教育課程

## ★ 家庭との連携

### 保護者との共有

家庭との連携が重要な内容には、保護者の方へのメッセージを記載しています。

### 保護者の皆様へ

入学当初の子どもにとって、1人または集団で登下校することは、大きな環境の変化です。また、1年生の交通事故は他学年よりも多く発生している傾向があります。家庭と学校のいっそうの連携を目指し、通学の「安心・安全」について、ご家庭でもご確認ください。

上巻 p.1

### 多様な家庭への配慮

写真やイラストは、子どもの多様な家庭環境に配慮しています。また、家族単位や成長単位では、子どもの多様な家庭環境に十分に配慮して単元を構成しています。

## ★ 地域との連携

地域社会との連携に配慮し、地域の方と関わる活動や学校での出来事を通して、自分の住む町が好きになり、子どもが地域の一員として生活をより良くしようとする姿勢を示しています。



ステップブック p.4-5

# 6 QRコンテンツ



紙面に QR コードを掲載し、学習内容と関連する参考情報をタブレット端末やスマートフォンなどで閲覧できるようにしています。学習意欲を高め、家庭で主体的に学習する際にも参考になるようにしています。QR コード対応機器以外でご使用される際は、<https://k-qr.com/0l1> にアクセスしてください。なお、コンテンツデータは指導書付録 DVD にも収録予定です。

## ★ 動画



- けん玉の技
- 草花遊び
- 手遊び歌 など

## ★ スライド



- 生き物の育て方
- はさみの使い方
- 野菜の育て方 など

## ★ 音声



- 虫の鳴き声
- セミの鳴き声
- 鳥の鳴き声 など

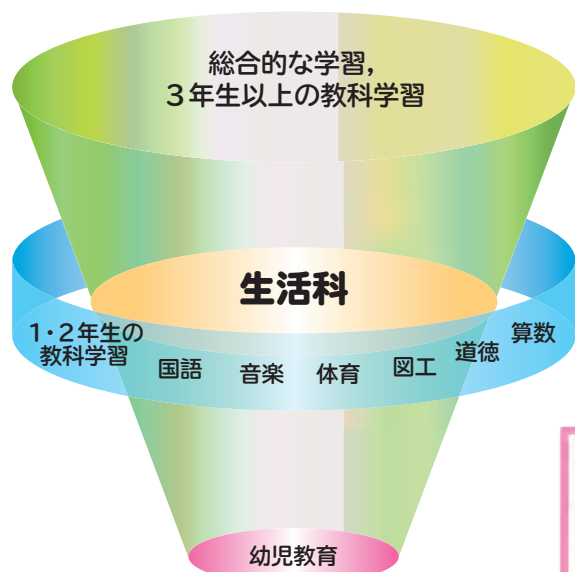
## ★ 啓林館 WEB ずかん



※インターネット接続に必要な費用やパケット通信料などは、使用される方のご負担になります。通信環境をご確認の上、ご利用ください。



子どもの発達段階や特性を踏まえて、幼児教育・他教科とのつながり・中学年以降の教科等への接続に配慮しています。カリキュラム・マネジメントの参考になる内容構成です。生活科と他教科等との連携を図ることで、指導の効果が高まり、低学年教育全体が充実します。



体育

上巻 p.65



下巻 p.67

国語

算数



幼児教育

上巻 p.31



上巻 p.64

図画工作



上巻 p.65

音楽

道徳



上巻 p.68-69



下巻 p.36

社会科

理科



下巻 p.62



ステップブック p.3

総合





## 教師の言葉かけ

経験の浅い先生でも安心して指導できるように、子どもの経験から活動を引き出したり、子どもの思考を深めたりする教師の言葉かけや働きかけの例を豊富に掲載しています。

### 経験を引き出す

ようちえんや ほういくしょでは  
どんなあそびを したかな？

### 意味づける

くらべると ちがいが  
よく わかりますね。

### 価値づける

なんども ためして  
気づいたんですね。



### 表現を引き出す

どんな かたちに見えるかな？

### 称賛する

野さいと いっしょに  
みんなも せい長 したんだね。

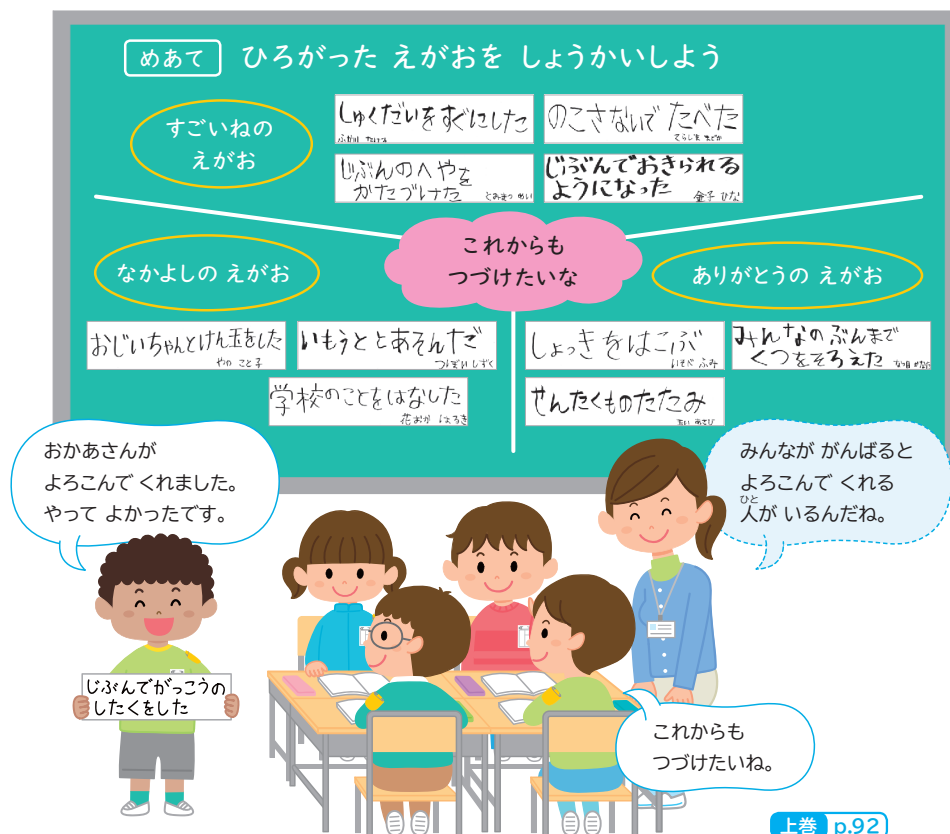
### 説明する

つたえる ないようや あい手に  
合わせて つたえる 方ほうを  
えらぶと いいですよ。



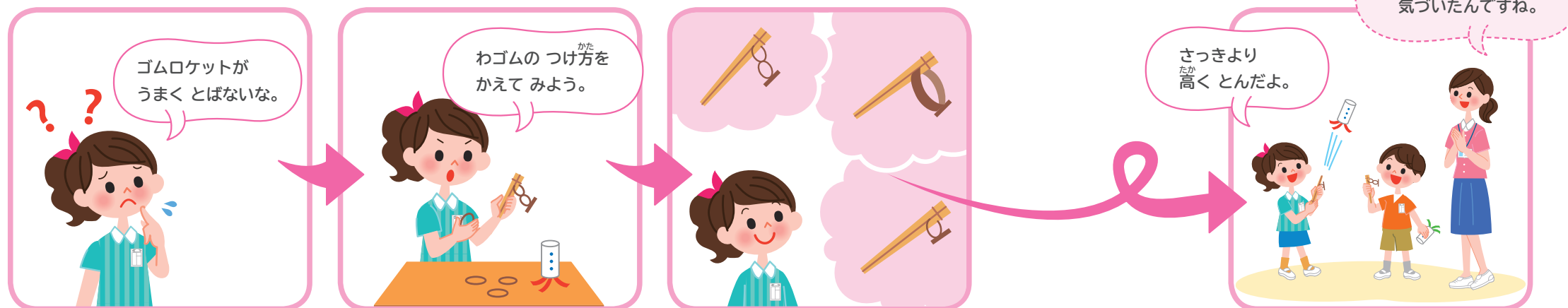
## 板書・ICT 活用

子どもの気づきを共有化・可視化するための、板書、付箋、ICT を活用する学習活動を豊富に例示しています。



## 学びの深まり

子どもの台詞などから、学習の流れのイメージが湧くように工夫しています。



経験の浅い先生でも  
安心して  
指導できる





自然災害、交通災害、人的災害

自然災害、交通災害、人的災害の3つの視点をもとに、適切な行動や基本的な知識が身につくよう資料が充実しています。また、子どもの安全を家庭と学校が連携して考えられるように、保護者の方へのメッセージを掲載する工夫をしています。



あんしん あんぜん

じしん



保護者の皆様へ

災害は突然起こる危険性があります。このページでは、小学校低学年の子どもでも理解できる範囲で、学校にいるときに災害が起きた際の避難の約束を示しています。ご家庭でも災害のときにどうするかご確認いただき、防災の参考にしてください。

かじ



つなみ

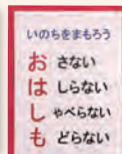
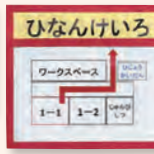


ひなんの やくそく おはしも



ちゃれんじ

- 1 つくえの したに かくれる れんしゅうを してみよう。
- 2 きょうしつから たいいくかんや こうていに ひなんしてみよう。



しらないひとに こえを かけられたら

いかのおすし



い かない の らない お おごえを だす す ぐにげる し らせる

上巻 p.1



危険な生き物

写真を用いて事前に確認できるように「きをつけよう」のコーナーで示しています。

きをつけよう

スズメバチ



チャドクガの ようちゅう



下巻 p.47



啓林館 WEBずかん

掲載しきれない危険な生き物は、啓林館 WEBずかんの「危険な生き物ずかん」に収録しています。



熱中症への配慮

あついひは みずを のもうね。



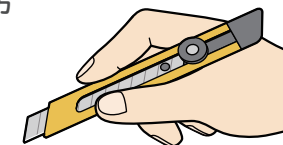
上巻 p.39



道具の使い方

イラストを用いて、児童にわかりやすく示しています。

- ・はさみの使い方
- ・カッターナイフの使い方
- ・スチレンカッターの使い方
- ・のり、接着剤の使い方
- ・きり、千枚通し、パンチの使い方
- ・ステープラの使い方
- ・虫眼鏡の使い方





キーワード 10 衛生面

**栽培活動**  
生野菜については家庭での管理のもとで食べるように促しました。

**飼育動物**  
環境省により「緊急対策外来種」に指定され、ザリガニカビ病などの衛生面の不安のあるアメリカザリガニの掲載を避けました。

**手洗いマーク**  
飼育・栽培活動の前後の手洗いを徹底しています。



62

上巻 p.62

キーワード 11 健康面

★ 基本的生活習慣

歯磨き、手洗い、うがい、早寝早起きなど基本的生活習慣が身につく、健康に生活ができるようになるためのきっかけとなる内容を記載しています。また、夏休みなどの長期休暇の過ごし方にも配慮しています。



★ アレルギーへの配慮

学習をはじめる前に、動物や昆虫等のアレルギーについて確認できるように配慮しています。

ご指導される先生方へ：学習をはじめる前に、児童のアレルギーの有無（動物や昆虫など）について保護者の方にご確認ください。

上巻 p.58

キーワード 12 環境教育・ESD（持続可能な開発のための教育）

学校内のビオトープ、落ち葉での堆肥作り、リサイクルなど、環境に目を向けさせ、自然のすばらしさを実感し、これらを大切にする心が育つようにしています。SDGs（持続可能な開発目標）にもつながっていく考え方です。

★ 生態系への配慮

飼育動物については、環境省の生態系被害防止外来種リストで「緊急対策外来種」に指定され、生態系に大きな影響を及ぼすアメリカザリガニの掲載を避けました。教材として飼育する場合は、野外に放流しないようにし、外来生物と正しく関わる配慮が必要です。

環境省 (<https://www.env.go.jp/nature/intro/>)

そだてる ことが できる  
かず 数だけ つかまえようね。



下巻 p.47



キーワード 13 伝統や文化に関する教育

季節の行事や歌を例示し、日本の文化や季節の変化のすばらしさを感じることができるよう工夫しています。



下巻 p.70-71



# 観点別特色一覧表

1	生活科の目標	60
2	資質・能力の3つの柱	61
3	教科書の構成・配列	62
4	内容の選択・扱い	63
5	カリキュラム・マネジメント、他教科との関連	65
6	幼児教育とのつながり	66
7	中学年以降へのつながり	66
8	今日的な教育課題	67
9	表記・表現	71
10	用紙・印刷・製本	72



## 14 人権や福祉

### ジェンダー，男女平等

イラスト，写真などの男女比がほぼ同比率になっており，さらに性別によって服装の色や種類が固定的にならないように配慮しています。

### 多様な人々

幼児や高齢者，外国人，障がいのある方など，こだわりなく関わり合えることができ，誰もが住みやすい社会を目指そうとする意識が自然に芽生えるように工夫しています。

また，イラストで，車椅子を使用する子どもが設定され，ともにいきいきと活動している様子を紹介しています。

### 国際理解

上巻・下巻ともに，写真やイラストに外国人の子どもが設定され，ともにいきいきと活動する様子を示しています。また，外国のけん玉や外国のあいさつ，外国語表記の看板などを掲載し，子どもが異なる国の文化に興味関心が高まるように工夫されています。



## 15 インクルーシブ教育

### ユニバーサルデザイン書体(UD書体)を採用

本文には，誰もが識字しやすいように，読みやすく開発されたUD書体を採用しています。  
(国語科や書写での文字指導にも即した点画の正しい書体を採用しています。)

き

その他の書体

き

UD書体

### MUD協会（内閣府認証NPO法人メディア・ユニバーサル・デザイン協会）

色覚特性を含めた，すべての人が見やすく，読みやすいデザインを行い，MUD協会の認証を申請中です。



### 特別支援教育

特別支援教育の専門家の監修のもと，すべての子どもたちが支障なく，落ち着いて学習できるように工夫しています。



## 1. 生活科の目標

	観点	啓林館の特色	具体例
1	具体的な活動や体験を通して、学習が展開できるようにしているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>単元導入は、児童が笑顔で活動している写真から始まっており、単元の始めから具体的な活動が見える構成になっている。</li> <li>見る、聞く、触れる、作る、探す、育てる、遊ぶなどして<b>対象に直接働きかける学習活動</b>が豊富に紹介されている。</li> <li>充実した活動や体験を通して、児童の「書きたい」「発表したい」という意欲を育て、体験活動と表現活動が繰り返されることで<b>児童の学びの質が高まる</b>ように工夫されている。</li> </ul>	<p>単元導入</p> <p>📖 p.2-3, 20-21, 34-35, 44-45, 58-59, 72-73, 86-87, 98-99, 108-109</p> <p>📖 p.2-3, 12-13, 26-27, 42-43, 58-59, 72-73, 86-87, 98-99</p> <p>対象に直接働きかける学習活動</p> <p>📖 p.6-15, 24-31, 36-41, 48-51, 60-63, 66-67, 76-83, 90-91, 96-97, 102-105, 112-115</p> <p>📖 p.6-9, 16-23, 32-39, 46-51, 62-67, 78-81, 92-93, 102-105</p> <p>表現活動</p> <p>📖 p.16-17, 32-33, 42-43, 54-55, 64-65, 84-85, 92-93, 106-107, 116-117</p> <p>📖 p.24-25, 36-37, 52-53, 66-67, 82-83, 92-95, 106-107</p>
2	身近な生活に関わる見方・考え方を生かしながら、思いや願いを実現しようとする展開になっているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>見付ける、比べる、たとえる、試す、見通す、工夫するなどの<b>多様な学習活動</b>や、試行錯誤したり、繰り返したりして、<b>何度も対象と関わる学習活動</b>が豊富に掲載されている。</li> <li>活動の楽しさやそこで気付いたことなどを言葉、絵、動作、劇化などで<b>表現する活動</b>が豊富に掲載されている。</li> <li>身近な人々、社会及び自然を自分との関わりでとらえ、よりよい生活に向けて<b>思いや願いを実現していこうとする児童の姿</b>が写真やイラストなどで示されている。</li> </ul>	<p>多様な学習活動</p> <p>📖 p.48-49 📖 p.32-33 など …… 見つける</p> <p>📖 p.82-83 📖 p.64-65 など …… 比べる</p> <p>📖 p.25, 26, 65 📖 p.17 など …… たとえる</p> <p>📖 p.82-83 📖 p.58-67 など …… 試す</p> <p>📖 p.16, 46 など …… 見通す</p> <p>📖 p.50-51, 82-83 📖 21, 48-49 など …… 工夫する</p> <p>多様な表現活動</p> <p>📖 p.54-55, 64 …… 絵</p> <p>📖 p.26, 27, 65 …… 動作</p> <p>📖 p.64 📖 下 p.117 …… 劇化</p> <p>📖 p.43, 64 📖 p.25, 37, 92, 117 など …… ICT</p>
3	自立し生活を豊かにしていくための資質・能力を総合的に育成できるようになっているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>単元導入では、<b>幼児期の育ちやこれまでの経験</b>を基礎にし、児童の日常生活から単元が始まるような構成になっている。</li> <li>活動の中で生まれた「もっとこうしたい」などの思いや願いが、次の活動につながるように、<b>連続性のある単元</b>が構成されている。</li> <li>単元末には、ふり返し活動が設けられ、得られた気付きが価値あるものとして意味付けられ、自分の成長や学が楽しさを実感することで、<b>学習したことを次の学習や生活に生かそうとする意欲が高まる</b>ようになっている。</li> <li>生活上の自立、学習上の自立、精神的な自立の3つの視点から、児童の自立を支える教師の支援として、言葉かけや板書の活用の例が具体的に示されている。</li> </ul>	<p>単元導入</p> <p>📖 p.2-3, 20-21, 34-35, 44-45, 58-59, 72-73, 86-87, 98-99, 108-109</p> <p>📖 p.2-3, 12-13, 26-27, 42-43, 58-59, 72-73, 86-87, 98-99</p> <p>ふり返し活動</p> <p>📖 p.16-17, 32-33, 42-43, 54-55, 64-65, 84-85, 92-93, 106-107, 116-117</p> <p>📖 p.24-25, 36-37, 52-53, 66-67, 82-83, 92-95, 106-107</p> <p>教師の支援（言葉かけ）</p> <p>📖 p.7, 9, 17, 26, 31, 32, 45, 62, 81, 90, 92, 104</p> <p>📖 p.14, 19, 24, 30, 48, 52, 63, 76, 100 など</p> <p>教師の支援（板書例）</p> <p>📖 p.54, 92, 110-111, 114</p> <p>📖 p.30, 90, 94 など</p>

## 2. 資質・能力の3つの柱

	観点	啓林館の特色	具体例
4	知識及び技能の基礎	<ul style="list-style-type: none"> <li>紙面の左上の「小単元名」で具体的な活動が示されており、<b>見通しをもって取り組む</b>ことができるようになっている。</li> <li>巻末資料「がくしゅうずかん」には、調べ方・記録の仕方・話し合いの工夫・まとめ方などが一連で示されたり、用具の使い方・安全上の注意などが示されたりして、<b>基本的な知識及び技能や学び方</b>が身につくように工夫されている。</li> <li>基本的な知識及び技能や、あいさつ、マナー、安全に関する注意事項は「こんなときどうしよう」などの各種コーナーで学習できるように工夫されている。</li> </ul>	<p>小単元名</p>  <p>巻末資料「がくしゅうずかん」   p.119-131   p.109-128</p> <p>各種コーナー   p.7, 11, 27, 39, 41, 57, 77 など   p.17, 19, 31, 33, 35, 39, 41, 47, 49 など</p>
5	思考力、判断力、表現力等の基礎	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活科の学びのプロセスを考慮し、単元は、導入「わくわく」、主たる活動「いきいき」、ふり返り「ぐんぐん」の3段階で構成され、<b>探究的な学び</b>が身につくように構成されている。</li> <li>気付いたことをもとに考えるための、見付ける、比べる、たとえる、試す、見通す、工夫するなどの多様な学習活動の例が写真・表現物・イラスト・児童の台詞などで示されている。</li> <li>児童の<b>気付きの質を高めるための教師の支援</b>として、言葉かけや板書の活用の例が具体的に示されている。</li> <li>単元末「ぐんぐん」紙面での、言葉、絵、動作、劇化、ICTの活用などの多様な表現活動は、“発達段階”や“合科的・関連的指導”、“3年生への接続”等に配慮しながら、組織的・系統的に設定されており、<b>思考を深め、豊かな表現力が身に付く</b>ように配慮されている。</li> </ul>	<p>多様な学習活動</p>  p.48-49  p.32-33 など ..... 見つける  p.82-83  p.64-65 など ..... 比べる  p.25, 26, 65  p.17 など ..... たとえる  p.82-83  p.58-67 など ..... 試す  p.16,46 など ..... 見通す  p.50-51, 82-83  21, 48-49 など ..... 工夫する <p>教師の支援（言葉かけ）   p.7, 9, 17, 26, 31, 32, 45, 62, 81, 90, 92, 104,   p.14, 19, 24, 30, 48, 52, 63, 76, 100 など</p> <p>教師の支援（板書例）   p.54, 92, 110-111, 114   p.30, 90, 94 など</p> <p>表現活動   p.16-17, 32-33, 42-43, 54-55, 64-65, 84-85, 92-93, 106-107, 116-117   p.24-25, 36-37, 52-53, 66-67, 82-83, 92-95, 106-107</p>
6	学びに向かう力、人間性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>全単元を通して、思いや願いの実現に向けて、身近な人々、社会及び自然に<b>自ら働きかける具体的な姿</b>が写真やイラストなどで示されている。</li> <li>自分の良さに気付いたり、<b>自己肯定感</b>が高まったりするように、自分の成長を感じることができる学習活動が設定されている。また、児童が互いのよいところに共感し合ったり、教師の言葉や保護者からの手紙などで称賛したりして、認められるように配慮されている。</li> <li>下巻の巻末では、生活科の学習をふり返る中で、<b>未来に向けての夢と志</b>をもつことができる「3年生へのステップブック みらいにむかって」の資料単元が設定されている。</li> <li>単元末「ぐんぐん」紙面では、学習をふり返り、自らの成長や学びの深まりを実感することで、満足感・成就感などの手応えとなり、<b>次の活動への持続的な意欲が育まれる</b>ように工夫されている。</li> <li>単元末「ぐんぐん」紙面の「ひろがるきもち」コーナーでは、生活科の学習が日常生活に広がり、<b>児童が自立し生活を豊かにしようとする姿</b>が具体的に示されている。</li> </ul>	<p>相互評価   p.112   p.105</p> <p>教師や保護者からの称賛   p.33, 93, 116   p.107</p> <p>3年生へのステップブック   [小寸]p.1-7 ..... みらいにむかって</p> <p>単元末「ぐんぐん」   p.16-17, 32-33, 42-43, 54-55, 64-65, 84-85, 92-93, 106-107, 116-117   p.24-25, 36-37, 52-53, 66-67, 82-83, 92-95, 106-107</p> <p>ひろがるきもち   p.17, 43, 55, 65, 93, 107, 117   p.9, 25, 37, 53, 67, 83, 95, 107</p>  <p>ひろがるきもち</p>



3. 教科書の構成・配列

	観点	啓林館の特色	具体例						
7	教科書の構成・単元の配列は適切か。	・上巻・下巻ともに、季節に沿って単元が構成され、単元が進むにつれて活動が広がり、深まっていくように配列されている。	教科書全体を通して						
8	単元の内容・分量は適切か。	・単元名で学習内容の概要がわかり、児童の興味・関心を生かした活動ができるよう、大きくゆったりとしたくりになっている。	教科書全体を通して						
9	長期休暇や休日に対して柔軟な配慮がなされているか。	・上巻・下巻ともに「きせつだより」が設けられている。ここでは、家庭や地域でも、自主的に活動を発展させることができるような例が多く紹介され、学校外でも児童が力をつけていけるように工夫されている。 ・町探検において、児童が休日に利用する公共施設（図書館・博物館・駅など）との関わりが紹介されている。	きせつだより 📖 p.56-57, 94-95 📖 p.10-11, 56-57, 70-71, 96-97 公共施設との関わり 📖 p.38-41, 118-119 など						
10	2学期制に対応しているか。	・9月末～10月初旬に単元の区切りをおき、2学期制にも対応できるように配慮されている。	9月末～10月初旬からはじまる単元 📖 p.58-65 .....生きもの大すき 📖 p.72-83 .....もっと知りたいたんけんたい						
11	複式学級に対応しているか。	・上巻・下巻ともに、1・2年生までに習う漢字すべてにルビが付けられているため、1年生の児童でも下巻の教科書を使用することできるように配慮されている。 ・活動例や学習対象が多様に紹介され、その中から、学校や児童の実態に合わせて自由に選択できるように工夫されている。 ・巻末資料「がくしゅうずかん」を活用し、より重点的・弾力的な活動ができるようになっている。	〈漢字・カタカナの使い方〉 <table><tr><td>上巻（前半）</td><td>ひらがな</td></tr><tr><td>上巻（後半）</td><td>ひらがな、カタカナ、第1学年の配当漢字（ふりがな付き）</td></tr><tr><td>下巻</td><td>ひらがな、カタカナ、第1～2学年の配当漢字（ふりがな付き）</td></tr></table> 巻末「がくしゅうずかん」 📖 p.119-131 📖 p.109-128	上巻（前半）	ひらがな	上巻（後半）	ひらがな、カタカナ、第1学年の配当漢字（ふりがな付き）	下巻	ひらがな、カタカナ、第1～2学年の配当漢字（ふりがな付き）
上巻（前半）	ひらがな								
上巻（後半）	ひらがな、カタカナ、第1学年の配当漢字（ふりがな付き）								
下巻	ひらがな、カタカナ、第1～2学年の配当漢字（ふりがな付き）								

4. 内容の選択・扱い

	観点	啓林館の特色	具体例
12	児童の発達段階が考慮されたものになっているか。	・上巻は主として学校を、下巻は主として地域を活動の場とし、学習指導要領の9つの内容が児童の発達段階を考慮して配列されている。 ・「家庭と生活」に関わる単元は、低学年児童にとって家庭は学校と密接不離な生活環境という観点から上巻に、「成長」に関わる単元は、2年間の活動の集大成という観点から、下巻の最後に重点を置いて配置されている（上巻の成長単元は1年間のふり返りの扱いで最後に配置されている）。	【(2) 家庭と生活】 📖 p.86-93 【(9) 自分の成長】 📖 p.98-107
13	主体的・対話的で深い学びにつながる学習ができるようになっているか。	・単元は、導入「わくわく」、主たる活動「いきいき」、ふり返り「ぐんぐん」の3段階で構成され、単元を通して活動が発展し、深めていけるようになっている。 ・「次はこうしたい」、「もっとこうしたい」という思いや願いが紙面右下の「めくり言葉」に例示され、児童の活動の連続性・広がりをサポートできるようになっている。 ・活動を通して身近な人々、社会、自然と繰り返し関わっていくことができるようになっており、活動が繰り返し深まるように配慮されている。 ・町探検の絵地図は、繰り返し使用し、気付いたことを書き足すことで、発見や気付きが増えていったことがわかり、学びが深まる実感を得られるように工夫されている。 ・児童の思考を促したり、学習を方向付けたり、気付きの質を高めたりする教師の支援の例が具体的に掲載されている。 ・児童の気付きを共有化・可視化するための、板書、付箋、ICTを活用する学習活動が豊富に掲載されている。	3段階構成  めくり言葉  町探検の絵地図（繰り返し学びを深める） 📖 p.30, 36, 73, 76, 82, 93 定点観測（繰り返し学びを深める） 📖 p.12, 48, 76, 102 .....校庭 📖 p.36-37, 78-79 .....公園 教師の支援（言葉かけ） 📖 p.7, 9, 17, 26, 31, 32, 45, 62, 81, 90, 92, 104 📖 p.14, 19, 24, 30, 48, 52, 63, 76, 100 など 教師の支援（板書例） 📖 p.54, 92, 110-111, 114 📖 p.30, 90, 94 など
14	学びの見通し・ふり返り	・単元導入は、「わくわくの扉」と「わくわくボックス」の4ページで構成され、「～したい」という思いや願いを高めることで、児童自身が学びの見通しをもてるように構成されている。 ・表現活動は、発表形式のみならず、1対1や、グループ内、現地に出て、身ぶり手ぶり、実物を持ってなど、多様な方法を通して、さらに気付きが深まり、活動に広がりが出るように配慮されている。 ・単元末「ぐんぐん」紙面の「できるかな できたかな？」コーナーでは、学習過程や成果をふり返り、自らの成長や学びの深まりを実感できるように工夫されている。	わくわくの扉 📖 p.2-3, 20-21, 34-35 📖 p.2-3, 12-13, 26-27 など わくわくボックス 📖 p.4-5, 22-23, 36-37 📖 p.4-5, 14-15, 28-29 など 表現活動 📖 p.16-17, 32-33, 42-43, 54-55, 64-65, 84-85, 92-93, 106-107, 116-117 📖 p.24-25, 36-37, 52-53, 66-67, 82-83, 92-95, 106-107 できるかなできたかな？ 📖 p.17, 33, 55, 65, 85, 93, 107 📖 p.9, 25, 37, 53, 67, 83, 95, 107  できるかなできたかな？



	観点	啓林館の特色	具体例
15	言語活動が充実するように工夫されているか。	<ul style="list-style-type: none"><li>単元末「ぐんぐん」紙面では、言葉、絵、動作、劇化、ICTの活用など多様な表現活動が発達段階や合科的・関連的指導、3年生への接続等に配慮しながら、組織的・系統的に設定されており、思考を深め、豊かな表現力が身につくように配慮されている。</li><li>思考と表現が一体的に行われたり繰り返されたりする低学年の特性に配慮しながら、主な活動「いきいき」紙面でも、さまざまな表現方法が紹介され、体験活動と表現活動が繰り返されることで児童の学びの質が高まるように工夫されている。</li><li>発表形式のみならず、1対1や、グループ内、現地に出て、身ぶり手ぶり、実物を持ってなど、多様な伝え合い活動を通して、さらに気付きが深まり、活動に広がりが出るように配慮されている。</li><li>国語科や書写で学習したことを生かした、作文・新聞・招待状・説明文・パンフレット・ポスター・俳句などの多様な表現物が記載されている。</li><li>相手のことを想像して、伝えたいことや伝え方を自己決定できるように、巻末資料の「がくしゅうずかん」に、まとめ方や伝え方を示した資料が掲載されている。</li></ul>	<p>多様な表現活動</p> <p>身体表現 歌やダンス 絵 劇 ICT 実物の使用 クイズ ペープサート 絵本・まきもの 紙芝居 カルタ</p> <p>伝え合い活動、表現活動</p> <p>国語科や書写との関連</p>
16	個に応じた指導ができるように工夫されているか。	<ul style="list-style-type: none"><li>児童の活動をより広げ、深めるものとして発展的な内容が巻末資料に設けられている。</li><li>巻末の豊富な資料により個に応じた学習が行いやすくなっている。</li></ul>	<p>発展的な内容</p> <p>巻末資料「がくしゅうずかん」</p>
17	評価に関して、教科書が適切に利用できるようになっているか。	<ul style="list-style-type: none"><li>単元末「ぐんぐん」紙面の「できるかな できたかな？」コーナーは、教師にとって、その単元で育てたい児童の姿がわかり「評価の手がかり」になるよう工夫されている。また、児童にとっては、「自己評価の視点の例」として、活用できるようになっている。</li><li>児童の作品やキャラクターの発言、カード類において、自分の成長や相互評価の例がとりあげられ、評価につながるように配慮されている。</li><li>児童が互いのよいところを共感し合ったり、教師の言葉や保護者からの手紙などで称賛したりして、認められるように配慮されている。</li></ul>	<p>できるかなでできたかな？</p> <p>相互評価</p> <p>教師や保護者からの称賛</p>
18	身近な素材を使って活動ができるようになっているか。	<ul style="list-style-type: none"><li>おもちゃなどの製作活動では、多くの身近な素材を使用して多様な活動に取り組めるようになっている。</li><li>自然活動に際しては、身近な動物や植物などの自然との関わりに興味・関心をもてるよう、資料を豊富に掲載している。</li><li>動植物を採り過ぎないように配慮されていたり、おもちゃ作りの活動後は素材を無駄にしないように促されていたりして、環境への意識も高まるようになっている。</li></ul>	<p>おもちゃ単元</p> <p>飼育単元</p> <p>栽培単元</p>

	観点	啓林館の特色	具体例
19	気付きの質の高まりに十分目を向けられているか。	<ul style="list-style-type: none"><li>単元は導入「わくわく」、主たる活動「いきいき」、ふり返り「ぐんぐん」の3段階で構成され、紙面左上にマークを付して目立たせることで、単元を通して活動が発展し、深まっていくことが見て取れるようになっている。</li><li>単元内の活動は、基本的に見開き単位で構成され、それらが単発の活動にならないように、紙面右下の「めくり言葉」で、「次はこうしたい」、「もっとこうしたい」という思いや願いが掲載されている。これにより、次の活動に思いや願いをもって深めていけるようになっている。</li><li>直接体験を通した児童の発見や感動は、気付きへとつながる重要な手がかりであり、これらが写真・イラスト・カード・本文・キャラクターの台詞で表現されることで、気付きが目が向くように十分配慮されている。</li><li>教師が児童とともに活動したり共感したりするようすが取り上げられ、児童の気付きが深まる例が随所に示されている。</li></ul>	<p>3段階構成がわかるマーク</p> <p>気付きのヒントになるキャラクターの台詞</p> <p>カードの例</p>
20	協働的な学習活動ができるよう工夫されているか。	<ul style="list-style-type: none"><li>児童が、自分たちで企画立案や伝え合いをしながら活動を深めるようすが紙面に示されている。</li><li>ふせんなどを活用して、町探検で町の人にインタビューする項目をグループごとに考えたり、気付いたことをまとめたりする具体的なようすが紙面に示されており、協働的な学習活動により気づきの質が高まるよう配慮されている。</li><li>協働的な学びが自然と生まれるように、机の配置を3～4名のグループで設定するなど、場の設定や授業環境の工夫が紙面の写真やイラストから見てわかるようになっている。</li><li>紙面右上の「こんなときどうしよう」のコーナーでは、単元の学習の中で生じると予想される課題がイラストで示されており、クラスでの話し合いとして活用できるようになっている。</li><li>巻末資料の「がくしゅうずかん」では、「友達と考えを深めよう」の資料が設けられており、グループでの話し合いの方法やクラスでの話し合いの方法、話し合いのヒントなどが示され、児童の協働的な学びをサポートしている。</li></ul>	<p>協働的な学習活動</p> <p>協働的な学習活動</p> <p>こんなときどうしよう</p> <p>巻末資料「がくしゅうずかん」</p>

5. カリキュラム・マネジメント、他教科との関連

	観点	啓林館の特色	具体例
21	他教科との関連を図ることで指導の効果が高まるような工夫がされているか。	<ul style="list-style-type: none"><li>国語科（話すこと、聞くこと、書くこと、読むこと）、算数科（かず、時間）、音楽科（歌）、図画工作科（製作、造形）、体育科（ゲーム、ダンス）、道徳科（生命の尊さ、伝統文化）などの各教科等の学習で育成を目指す資質・能力との関連を考慮し、学習活動の充実を図る工夫がされている。</li><li>他教科との関連がある具体的な活動には、合科的・関連的な学習活動を示すマークが付けられている。</li></ul>	<p>国語科との関連</p> <p>算数科との関連</p> <p>音楽科との関連</p> <p>図画工作科との関連</p> <p>体育科との関連</p> <p>道徳科との関連</p>



	観点	啓林館の特色	具体例
22	道徳教育の充実に配慮されているか。	<ul style="list-style-type: none"><li>「生命の尊さ」、「家族愛、家庭生活の充実」、「伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度」など、道徳科の学習と生活科の学習の効果が相互に高められるよう道徳科の学習に関連する紙面が充実している。</li><li>あいさつやマナーは、「こんなときどうしよう」などのコーナーで学習できるように工夫されている。</li></ul>	<p>善悪の判断，自律，自由と正義 📖 p.7, 39 📖 p.31</p> <p>礼儀 📖 p.11</p> <p>生命の尊重 📖 p.20-33, 58-67, 68-69 📖 p.12-25, 42-53</p> <p>親切，思いやり 📖 p.38</p> <p>伝統と文化の尊重 📖 p.57, 96-97 📖 p.10-11, 56-57, 70-71, 96-97</p> <p>家族愛，家庭生活の充実 📖 p.86-93</p> <p>国際理解，国際親善 📖 p.126-127</p>

6. 幼児教育とのつながり

	観点	啓林館の特色	具体例
23	幼児教育との接続・スタートカリキュラム	<ul style="list-style-type: none"><li>「<b>幼児期の終わりまでに育ってほしい姿（10の姿）</b>」を踏まえて、児童が主体的に自己を発揮しながら、安心して学校生活を始められるように上巻の巻頭に、すたあとがつく「<b>がっこうだいすき あいうえお</b>」の単元が設定されている。</li><li>入学当初の緊張感のある児童が遊びを通して関わることで、児童の<b>人間関係が豊かに広がる</b>ように配慮されている。</li><li>幼児期における遊びを通した総合的な学びから、各教科等における学習に円滑に移行できるよう、<b>歌や遊びを取り入れた活動</b>や、生活科を中心とした<b>合科的・関連的な学習活動</b>の例示が充実している。</li><li>入学当初だけでなく、その後の単元においても、幼児期の学びや育ちを生かして自己を発揮できるよう配慮されている。</li></ul>	<p>すたあとがつく 📖 [小寸] p.1-16 …… がっこうだいすきあいうえお</p> <p>教師の言葉かけ働きかけ 📖 [小寸] p.7, 9, 11</p> <p>歌や遊びを取り入れた学習活動 📖 [小寸] p.8-9, 11</p> <p>合科的・関連的な学習活動 📖 [小寸] p.9-10(図画工作, 国語, 体育, 算数, 音楽)</p> <p>幼児期の学びや育ちとのつながり 📖 p.21, 45, 59 📖 p.14</p>
24	保幼小交流活動	<ul style="list-style-type: none"><li>保幼小交流活動では、幼児にとっては小学校への期待を高め、児童にとっては自己肯定感を高められる<b>互恵性のある活動</b>が設定されている。</li></ul>	<p>保幼小交流 📖 p.43, 85, 114-117</p>

7. 中学年以降へのつながり

	観点	啓林館の特色	具体例
25	社会科へのつながりに配慮されているか。	<ul style="list-style-type: none"><li>町探検では、町のように<b>絵地図に整理する学習活動</b>が設けられ、位置関係や空間的な広がりへの気づきにつながるよう配慮されている。</li><li>町探検では、<b>公共施設の見学のように</b>などが例示されており、さまざまな施設によって自分たちの生活が豊かになっていることがわかるようになっている。</li><li>秋の町探検では、人に注目した単元の構成になっており、<b>町に暮らす人や町で働く人と関わり</b>がもてるように工夫されている。</li><li>下巻巻末「<b>がくしゅうずかん</b>」では、社会科4年生につながるリサイクルの資料が発展的な学習として例示されている。</li><li>下巻の「<b>きせつだより</b>」では、<b>季節ごとの年中行事</b>の例が示されており、伝統や文化への気づきや、時期や時間の経過への気づきなどにつながるようになっている。</li></ul>	<p>町探検の絵地図 📖 p.30, 36, 73, 76, 82, 90, 93 など</p> <p>公共施設の利用 📖 p.38-41</p> <p>町で働く人との関わり 📖 p.26-41 …… とび出せ！町のたんけんたい 📖 p.71-83 …… もっと知りたいたんけんたい</p> <p>リサイクル 📖 p.123</p> <p>年中行事 📖 p.10-11, 56-57, 70-71, 96-97</p>

	観点	啓林館の特色	具体例
26	理科へのつながりに配慮されているか。	<ul style="list-style-type: none"><li>栽培活動は、上巻では花を、下巻では野菜を扱い、<b>植物の一生や生命の連続性への気づき</b>につながるよう工夫されている。</li><li>飼育活動は、<b>上巻では身近な生き物と関わりをもつこと、下巻では身近な生き物の長期的な飼育</b>を扱い、生命の連続性への気づきにつながるよう工夫されている。</li><li>おもちゃ作りでは、風・ゴム・磁石・空気などの視点の例示があり、遊びながら物の性質や働きに気付くよう工夫されている。</li><li>校庭や公園のイラストは、同じ場所が描かれ、自然のすばらしさや季節の変化を感じられるようになっている。</li><li>一人ひとりの児童が思いや願いの実現に向けて試行錯誤するようすが示され、問題解決の過程への基礎が養われるようになっている。</li></ul>	<p>飼育単元 📖 p.58-67 …… 生きもの大すき 📖 p.42-55 …… みんな生きている</p> <p>栽培単元 📖 p.20-33 …… げんきにそだてわたしのはな 📖 p.12-25 …… 大きくそだてわたしの野さい</p> <p>おもちゃ単元 📖 p.58-69 …… せかいでひとつわたしのおもちゃ</p> <p>定点観測イラスト 📖 p.12, 48, 76, 102 …… 校庭の定点観測 📖 p.36-37, 78-79 …… 公園の定点観測</p>
27	総合的な学習の時間へのつながりに配慮されているか。	<ul style="list-style-type: none"><li>具体的な活動や体験を通じて、<b>気付いたことをもとに考えたり、主体的にまた、協働して多様な学習活動を行ったり</b>することで、「総合的な学習の時間」にスムーズにつながるよう工夫されている。</li><li>単元は、生活科の学びのプロセスに沿って、導入「<b>わくわく</b>」、主たる活動「<b>いきいき</b>」、ふり返り「<b>ぐんぐん</b>」の3段階で構成され、それらの学びをくり返すことで、総合的な学習の時間につながる、<b>探究のプロセスの基礎</b>を養えるように構成されている。</li></ul>	<p>協働的な学習活動 ※教科書全体を通して掲載しています。 📖 p.8, 16, 32, 42, 54, 82, 83, 92 など 📖 p.16, 24, 30, 36, 46, 48, 51, 63, 77, 82, 90 など</p>
28	中学年以降へのつながりに配慮されているか。	<ul style="list-style-type: none"><li>生活科の活動内容から無理なく発展するように、本編の活動内容と上位学年の学習内容との関連を配慮しながら設定されている。</li><li>下巻の巻末では、生活科の学習をふり返る中で、<b>未来に向けての夢と志</b>をもつことができる「3年生へのステップブック <b>みらいにむかって</b>」の資料単元が掲載されている。</li></ul>	<p>3年生へのステップブック 📖 [小寸] p.1-7 …… みらいにむかって</p> 

8. 今日的な教育課題

	観点	啓林館の特色	具体例
29	防災教育・減災教育への配慮が十分になされているか。	<ul style="list-style-type: none"><li>災害は、自然災害、交通災害、人的災害の3つの視点をもとに、<b>適切な行動や基本的な知識</b>が身につくよう資料が充実している。</li><li><b>登下校に関する交通安全の資料は、1年生の4月の段階で指導</b>できるような配列になっている。</li><li>登下校に関する交通安全の資料には、保護者の方へのメッセージを掲載し、<b>家庭と学校が連携して児童の安全を考えられるよう</b>に工夫されている。</li><li>地震、火事、津波などの自然災害に関する資料は、上巻では学校探検の単元末に掲載されており、学校の施設や役割とともに学習したり、1学期の避難訓練などと同時に指導できたりするようになっている。下巻では、巻末資料「<b>がくしゅうずかん</b>」に掲載されており、いつでも確認できるようになっている。</li><li>防災に関するさまざまな標識やマークを掲載することで、児童の安全への意識や、基本的な生活習慣や技能が自然と高まるように工夫されている。</li></ul>	<p>防災に関する資料 📖 [小寸] p.16, p.1 (登下校, いかのおすし, 地震, 標識) 📖 p.14-15( 地域の人, 子ども110 番 ) 📖 p.18-19( 地震, 火事, 津波, おはしも, 避難訓練 ) 📖 p.33( 避難の標識 ) 📖 p.120( 避難の標識 ) 📖 p.128( 地震, 火事, 津波, おはしも )</p> <p>保護者の方へのメッセージ 📖 p.1, 19</p>



	観点	啓林館の特色	具体例
30	安全教育への配慮が十分になされているか。	<ul style="list-style-type: none"><li>危険な生物（スズメバチ、チャドクガの幼虫など）については、「きをつけよう」のコーナーに写真を掲載し、活動前に安全指導ができるようになっている。</li><li>交通安全や道具を使うときの注意などは、キャラクターの発言やマークなどを適所で的確に押さえられている。</li><li>はさみやカッターナイフなどの道具の使い方や、危険な生き物に対する注意など、安全への配慮が充実している。</li><li>熱中症が心配される夏の単元では、帽子を着用したり、校庭のイラストに水筒を描き込んだりなどの配慮がされている。</li></ul>	<p>危険な生き物 📖 p.41, 77 📖 p.47</p> <p>道具の使い方 📖 p.130( はさみ, のり, 接着剤, きり) 📖 p.124( カッターナイフ, スチレンカッター, のり, 接着剤, ステープラ, 千枚通し, パンチ)</p> <p>熱中症への配慮 📖 p.12, 36, 37, 39, 48, 50 📖 p.32, 33 など</p>
31	アレルギーなどへの配慮がされているか。	<ul style="list-style-type: none"><li>飼育においては、学習をはじめる前に、動物や昆虫などのアレルギーについて確認できるように配慮されている。</li></ul>	<p>ご指導される先生方へのメッセージ 📖 p.58 📖 p.42</p>
32	衛生面への配慮が十分になされているか。	<ul style="list-style-type: none"><li>飼育、栽培においては、活動の前後に手洗いなどの衛生面への注意を促されている。</li><li>ザリガニカビ病などの衛生面の不安のあるアメリカザリガニの掲載を避けている。</li></ul>	<p>飼育単元 📖 p.58-67 .....生きもの大すき 📖 p.42-55 .....みんな生きている</p>
33	人権や福祉への配慮がされているか。	<ul style="list-style-type: none"><li>幼児や高齢者、外国人、障がいのある方など、こだわりなく関わることができ、誰もが住みやすい社会を目指そうとする意識が自然に芽生えるように工夫されている。</li><li>イラストで、車椅子を使用する児童が設定され、ともにいきいきと活動しているようすが紹介されている。</li></ul>	<p>多様な人が描かれているイラスト 📖 p.36-37 .....公園の俯瞰図 📖 p.78-79 .....公園の俯瞰図 📖 p.28-29 .....町の俯瞰図 📖 p.126-127 .....せかいとつながろう</p> <p>車椅子を使用する児童 📖 [小寸]p.6, 15, p.6, 12, 14, 42, 48, 76, 79, 84, 106 📖 p.9, 32, 36, 67, 92</p>
34	男女平等への配慮がされているか。	<ul style="list-style-type: none"><li>イラスト、写真などの男女比がほぼ同比率になっており、さらに性別によって服装の色や種類が固定的にならないように配慮されている。また、家庭での役割や社会進出の面で、男女に差が生じないようにしている。</li></ul>	<p>教科書全体を通して</p>
35	国際理解へとつながる配慮がされているか。	<ul style="list-style-type: none"><li>上巻・下巻ともに、写真やイラストに外国人の児童が設定され、ともにいきいきと活動する姿が示されている。</li><li>多様な言語で表記されている標識や、あいさつなどが掲載されている。</li><li>外国のけん玉を記載し、児童が異なる国の文化に興味関心が高まるように工夫されている。</li></ul>	<p>外国人の児童 📖 p.5, 6, 11, 12, 13, 15, 17, 24, 36, 37, 41, 49, 50, 54, 60, 65, 74, 76, 78, 79, 83, 84, 85, 88, 89, 92, 102, 104, 106, 107, 113, 114, 116, 117 📖 p.4, 5, 6, 15, 21, 33, 36, 37, 52, 59, 63, 64, 66, 76, 92, 93, 94, 99, 102</p> <p>巻末資料「がくしゅうずかん」 📖 p.126-127 .....せかいとつながろう</p>
36	伝統や文化に関する教育の充実に配慮されているか。	<ul style="list-style-type: none"><li>季節の行事や歌を例示し、日本の文化や季節の変化のすばらしさを感じることができるよう工夫されている。</li><li>けん玉、こま、あやとり、おはじきなど昔の遊びにふれられるように配慮されている。</li><li>資料では、生き物のいろいろな姿や飼育方法が示され、気付きがサポートされるようになっている。</li></ul>	<p>きせつだより 📖 p.56-57, 94-95 📖 p.10-11, 56-57, 70-71, 96-97</p> <p>昔の遊び 📖 p.96-97</p>

	観点	啓林館の特色	具体例
37	生命尊重への配慮はされているか。	<ul style="list-style-type: none"><li>飼育や栽培を通して、生命の誕生や命のあたたかさなどにふれ、生命の大切さや慈しむ心を育てるとともに、生命の連続性に気づくように配慮されている。</li><li>資料では、生き物のいろいろな姿や飼育方法が示され、気付きがサポートされるようになっている。</li></ul>	<p>飼育単元 📖 p.58-67 .....生きもの大すき 📖 p.42-55 .....みんな生きている</p> <p>栽培単元 📖 p.20-33 .....げんきにそだてわたしのはな 📖 p.12-25 .....大きくそだてわたしの野さい</p> <p>飼育や栽培の資料 📖 p.70-71 .....生きもののそだてかた 📖 p.54-55 .....生きもののそだて方 📖 p.125 .....野さいのそだて方</p>
38	環境教育・ESD（持続可能な開発のための教育）・SDGsへの配慮はされているか。	<ul style="list-style-type: none"><li>学校内のピオトープ、落ち葉での堆肥作り、リサイクルなど、環境に目を向けさせ、自然のすばらしさを実感し、これらを大切にすることが育つようになっている。</li><li>飼育単元では、乱獲防止を促すキャラクターの台詞を掲載し、生態系を大切にすることが育つように配慮している。</li><li>飼育単元では、環境省が作成した「生態系被害防止外来種リスト」で「緊急対策外来種」に指定され、生態系に大きな影響を及ぼすアメリカザリガニの掲載を避けている。</li><li>下巻 p.55 では、外来生物の自然環境への影響を低学年の児童にもわかるように示しており、外来生物との関わり方や環境問題などに目を向けさせることができるようになっている。</li></ul>	<p>自然を大切にすることを育てる 📖 p.12, 48, 76, 102 .....ピオトープ 📖 p.85 📖 p.69 .....再利用 📖 p.123 .....落ち葉での堆肥作り 📖 p.123 .....リサイクルをしよう</p> <p>乱獲防止 📖 p.47 .....そだてることができる数だけつかまえようね</p> <p>飼育単元 📖 p.58-67 .....生きもの大すき 📖 p.42-55 .....みんな生きている</p> <p>外来生物との関わり方 📖 p.55</p>
39	さまざまな情報手段の活用が示唆され、情報教育への配慮はされているか。	<ul style="list-style-type: none"><li>情報の発信者、受信者、利用者としての視点で、低学年でも可能なさまざまな情報手段の活用を示唆している（インタビュー、図鑑で調べる、電話、手紙、デジタルカメラ、インターネット、電子黒板、掲示板の活用など）。</li><li>巻末資料において、「しらべよう」、「きろくしよう」、「友だちと考えを深めよう」、「まとめよう つたえよう」など、情報の活用のしかたを一連のものとして見るができるようになっている。</li></ul>	<p>巻末資料「がくしゅうずかん」 📖 p.121 .....コンピュータをつかおう 📖 p.122 .....しゃしんやどうがをとろう 📖 p.111 .....インタビューをしよう 📖 p.122 .....手紙、電話、ファックス、電子メール 📖 p.110-111 .....しらべよう 📖 p.112-113 .....記ろくしよう 📖 p.114-115 .....友だちと考えをふかめよう 📖 p.116-117 .....まとめようつたえよう など</p>
40	ICT機器を適切に活用できるよう配慮されているか。	<ul style="list-style-type: none"><li>児童の発達段階に配慮しながら、デジタルカメラ、コンピュータ、タブレット端末、電子黒板、インターネットなど、ICTを活用する学習活動が例示されている。</li><li>ICTが有効な場面には紙面にQRコードが掲載されており、学校や家庭で学習の助けになる教材（動画・補充資料など）が利用できるようになっている。</li></ul>	<p>ICTの活用 📖 p.37, 43, 64, 79, 121, 122 など 📖 p.21, 25, 37, 39, 52, 92, 95, 111, 113, 117 など</p> <p>QRコンテンツ 📖 p.1, 3, 21, 35, 45, 59, 73, 81, 97, 99, 119, 131 など 📖 p.10, 11, 13, 15, 27, 43, 56, 57, 59, 70, 71, 73, 96, 97, 109 など</p>
41	キャリア教育に十分目を向けられているか。	<ul style="list-style-type: none"><li>地域の店や公園などを訪問したり、利用したり、そこで働く人や利用する人とふれ合ったりする中で、その人たちへの感謝や憧れの気持ちをもつとともに、自分の夢や未来について考えることができるように工夫されている。</li><li>低学年におけるキャリア教育で大切な、自分の好きなこと、得意なことを増やし、さまざまな活動への興味・関心を高めながら意欲と自信をもって活動することができるような学習活動が多様に掲載され、また、それを実感できる「3年生へのステップブック みらいにむかって」の資料単元が掲載されている。</li></ul>	<p>働く人との関わり 📖 p.38 📖 p.32-35, 38-41, 78-81 など</p> <p>3年生へのステップブック 📖 [小寸]p.1-7 .....みらいにむかって</p> 



	観点	啓林館の特色	具体例
42	多様な家庭環境を考慮した活動内容となっているか。	<ul style="list-style-type: none"><li>写真やイラストは、児童の多様な家庭環境に配慮されている。</li><li>家族単元では、児童の多様な家庭環境に十分に配慮しながら、家族のあたたかさを実感したり、自分の役割を考えたりできるように工夫されている。</li><li>成長単元では、児童の多様な家庭環境に十分に配慮しながら、自分自身の成長をふり返ることができるように工夫されている。</li></ul>	家族単元 📖 p.86-93 …………… ひろがれえがお 成長単元 📖 p.98-108 …… これまでのわたしこれからのわたし
43	社会に開かれた教育課程、家庭や地域社会との連携に配慮されているか。	<ul style="list-style-type: none"><li>家庭との連携が重要な内容に、保護者の方へのメッセージを設け、<b>家庭との連携が深まる</b>ように配慮されている。</li><li><b>外部人材との連携</b>（地域の人的・物的資源の活用）の例として、地域のお年寄り（昔の遊び）、農家の人（野菜の栽培）、町で暮らす人や働く人（町探検）、見守り隊の人（交通安全）など、児童の生活を支える人々との交流が示されている。</li><li>生活科の活動のできごとを家庭で伝えるようすや地域の活動に積極的に取り組むようすが「ひろがるきもち」コーナーに記載されている。</li><li>公園探検や町探検などの野外活動では、地域の人や保護者の方、PTA などの協力を得ながら、安全に活動しているようすがイラストで示されている。</li></ul>	保護者の方へのメッセージ 📖 p. ③, 1, 19, 132 📖 [小寸] p.8 外部人材との連携 📖 p.96-97 📖 p.16, 20, 26-35, 38-41, 72-81 「ひろがるきもち」コーナー 📖 p.17, 55, 93 📖 p.37, 95 野外活動での家庭や地域の人との連携 📖 p.36-37, 78-79 📖 p.32-33
44	健康教育、生活習慣、食育に配慮されているか。	<ul style="list-style-type: none"><li>歯磨き、手洗い、うがい、早寝早起きなど基本的な生活習慣が身につく、健康に生活ができるようになるためのきっかけづくりとなる内容が記載されている。</li><li>上巻では、夏休み前と冬休み前に「きせつだより」の資料が設定され、休みの間でも、<b>規則正しく健康に過ごす</b>ことへの意識づけや指導ができるようになっている。</li><li>上巻の家族単元「ひろがれえがお」では、自分の1日の生活を見直し、規則正しく生活しようとする意識を育てることができるようになっている。</li><li>巻末の「がくしゅうずかん」の健康に関する資料には、「おいしくたべよう」のコーナーが設定され、<b>食育</b>にも配慮されている。</li></ul>	夏休み・冬休み前の指導 📖 p.56-57 …………… きせつだよりなつ 📖 p.94-95 …………… きせつだよりふゆ 家族単元「ひろがれえがお」 📖 p.86-93 食育 📖 p.129 …………… けんこうにすごそう
45	学校や地域の独自性を生かした活動が選択できるようになっているか。	<ul style="list-style-type: none"><li>活動例や学習対象が多様に紹介され、その中から、学校や児童の実態に合わせて自由に選択できるように工夫されている。</li><li>冬の単元では、雪が降る地域でも、雪が降らない地域でも活動が展開できるように、雪を利用した遊びと風を利用した遊びの両方が扱われている。</li></ul>	選択できる活動例や学習対象 📖 p.22-31( 花 ) 📖 p.50-51( 砂場遊び、シャボン玉 ) 📖 p.58-63( 生き物 ) 📖 p.82-85( どんぐりごま、やじろべえ、ダーツなど ) 📖 p.14-23( 野菜 )   📖 p.44-51( 生き物 ) 📖 p.60-65( おもちゃ ) 冬の単元「ふゆとなかよし」 📖 p.98-107 ( 雪遊び、風遊び )
46	インクルーシブ教育・ユニバーサルデザインに配慮されているか。	<ul style="list-style-type: none"><li>色覚の個人差を問わず、紙面の内容が判別しやすい配色・デザインを用い、<b>メディア・ユニバーサル・デザイン協会 (MUD)</b> による認証を申請中です。</li><li>本文などの基本的な文字のフォントは、<b>UD フォント</b>を採用し、誰もが見やすく、読み間違いが少ないよう配慮されている。</li><li>多様な児童に配慮し、「小単元名」、「本文」、「カード例」など<b>要素の位置が原則として固定</b>されている。また、学習活動の中で読む必要のあるカードは傾けて配置することを避け、読みやすい構成になっている。</li></ul>	メディア・ユニバーサル・デザイン協会  UD フォント 

9. 表記・表現

	観点	啓林館の特色	具体例						
47	表記・表現は親しみやすく、児童の意識に沿っているか。	<ul style="list-style-type: none"><li>単元名や小単元名の他、本文中の言葉については、いずれも児童が行う活動や体験への重要な刺激となるように位置づけられており、下記のように設定されている。また、それらの構成要素の位置は、原則として固定されている。</li></ul> <p>[ 単元名 ]</p> <p>その単元で扱う事象や内容の本質的な特徴を、児童の興味を引く表現で示し、大きなまとまりの中で多様な活動が可能になるように工夫されている。</p> <p>[ 小単元名 ]</p> <p>その小単元の学習活動を具体的に示し、活動への意欲が高まるようになっている。</p> <p>[ 本文 ]</p> <p>小単元名を受けた児童の思いや願いに沿った文章で、児童に気付いてほしいポイントや、意欲・驚き・喜びを表現するとともに、気付きの広がり・深まりを促す工夫がされている。</p> <p>[ 台詞 ]</p> <p>本文を補い、活動への示唆や児童のつぶやき・疑問の声などが「ふきだし」で示されている。</p>	<p>単元扉</p>  <p>小単元名・本文</p> 						
48	漢字・カタカナの使い方は適切か。	<ul style="list-style-type: none"><li>国語科の指導に配慮し、上巻の前半は、ひらがなのみ、上巻の後半（夏休み以降）の単元からは、カタカナと第1学年配当漢字（ふりがな付き）が使用されている。下巻は、ひらかな、カタカナ、第1学年の配当漢字（ふりがな付き）に加え、第2学年までの配当漢字（ふりがな付き）が使用されている。</li><li>児童の発達に配慮し、読みやすくするため文章が短く、区切られている。</li></ul>	<p>〈漢字・カタカナの使い方〉</p> <table><tr><td>上巻（前半）</td><td>ひらがな</td></tr><tr><td>上巻（後半）</td><td>ひらがな、カタカナ、第1学年の配当漢字（ふりがな付き）</td></tr><tr><td>下巻</td><td>ひらがな、カタカナ、第1～2学年の配当漢字（ふりがな付き）</td></tr></table>	上巻（前半）	ひらがな	上巻（後半）	ひらがな、カタカナ、第1学年の配当漢字（ふりがな付き）	下巻	ひらがな、カタカナ、第1～2学年の配当漢字（ふりがな付き）
上巻（前半）	ひらがな								
上巻（後半）	ひらがな、カタカナ、第1学年の配当漢字（ふりがな付き）								
下巻	ひらがな、カタカナ、第1～2学年の配当漢字（ふりがな付き）								
49	デザイン・レイアウトは適切か。	<ul style="list-style-type: none"><li>1つの活動は見開きを基本として構成されていて、活動の内容がとらえやすくなっている。</li><li>基本的なストーリーは低学年児童の教科書にふさわしい程度の文字情報量と動きのある写真やイラストで構成され、それらがすっきりとレイアウトされている。</li><li>活動を広げ、深めることができるように、紙面に巻末資料への参照マークがあり、児童の主体的な学びをサポートするデザインになっている。</li></ul>	<p>資料ページへの参照マーク</p> <p>📖 p.17, 25, 33, 43, 55, 63, 65, 83, 85, 93, 97, 105, 107</p> <p>📖 p.9, 17, 21, 25, 33, 37, 41, 53, 63, 67, 69, 91, 93, 103, 105</p>  						
50	写真・イラストは適切か。	<ul style="list-style-type: none"><li>写真やイラストは、児童の想像力を刺激したり、共感をよんだりして、実際に活動する際の資料として十分活用できるようになっている。</li><li>興味・関心を喚起するダイナミックな写真と、緻密な資料としての写真とをメリハリをつけて、適切に配置されている。</li></ul>	教科書全体を通して						



	観点	啓林館の特色	具体例
51	鮮明な印刷になっているか。	<ul style="list-style-type: none"><li>国白色度の高い用紙に，鮮明で美しく印刷されている。</li></ul>	
52	製本や加工は，低学年児童の使用を考慮しているか。	<ul style="list-style-type: none"><li>製本は，「あじろ無線とじ」で強力な接着止めを行って堅牢なつくりになっており，ＡＢ判というサイズながら，紙面は開きやすく広く丈夫に確保されている。</li><li>氏名記入欄は裏表紙に設けられ，記入しやすいように，コート加工が部分的に外されている。</li><li>表紙には，厚い用紙が使用され，汚れや濡れに強い加工が施されている。</li><li>〔すたあとぶつく〕や〔ステップブック〕などの小寸ページの用紙は，光沢感があり，本文よりも厚い用紙が使用されている。</li></ul>	
53	用紙や印刷は，環境に配慮されているか。	<ul style="list-style-type: none"><li>発色が良く，耐久性もある，再生紙が使用されている。</li><li>環境への負荷が小さい植物油インキが使用されている。</li></ul>	

# 学習指導要領との関連

わくわく せいかつ 上

単元名 （その他活動，資料）	配当 時数	学習指導 要領の内容
がっこうだいすき あいうえお	6	(1) (2) (3)
いくぞ！ がっこう たんけんたい	10	(1) (3) (4) (5) (7) (8)
げんきに そだて わたしの はな (1学期)	5	(7) (8)
あそびばに でかけよう	5	(3) (4) (5) (6) (8)
なつと なかよし	6	(5) (6) (8)
げんきに そだて わたしの はな (2学期)	5	(7) (8)
生きもの 大すき	7	(1) (7) (8)
あきと なかよし	15	(4) (5) (6) (8)
ひろがれ えがお	10	(2) (8) (9)
ふゆと なかよし	10	(1) (3) (5) (6) (8)
もう すぐ 2年生	13	(1) (2) (3) (5) (8) (9)
標準時数 102 配当時数 (予備時数)	92 (10)	

いきいき せいかつ 下

単元名 （その他活動，資料）	配当 時数	学習指導 要領の内容
新しい こと いっぱい	4	(1) (8) (9)
大きく そだて わたしの 野さい (1学期)	10	(3) (5) (7) (8)
とび出せ！ 町の たんけんたい	10	(3) (4) (5) (8)
みんな 生きて いる	10	(3) (5) (7) (8)
せかいで ひとつ わたしの おもちゃ	12	(6) (8)
大きく そだて わたしの 野さい (2学期)	2	(3) (5) (7) (8)
もっと 知りたい たんけんたい	14	(3) (4) (5) (8)
町の すてき つたえたい	12	(3) (4) (5) (8)
これまでの わたし これからの わたし	21	(1) (2) (3) (8) (9)
(みらいに むかって)		(9)
標準時数 105 配当時数 (予備時数)	95 (10)	

※地域や学校および子どもの実態に応じた弾力的な活動計画が立てられるように，標準時数よりも余裕をもたせて時間を配当しています。

※下巻の巻末「みらいにむかって」は，資料単元として掲載しているため，配当時間は設けていません。

学習指導要領の9つの内容

(1) 学校と生活

(2) 家庭と生活

(3) 地域と生活

(4) 公共物や公共施設の利用

(5) 季節の変化と生活

(6) 自然や物を使った遊び

(7) 動植物の飼育・栽培

(8) 生活や出来事との交流

(9) 自分の成長



平成32(2020)年度用 年間活動計画

月	4	5	6	7	8	9	10	11		1	2	3
わくわく せいかつ 上	春休み がつこうだいすきあいいうえお⑥ + 他教科時数 あたらしいまいにち うきうきあそぼう いっしょにできるかな	げんきにそだてわたしのはな①学期⑤ きになるばしょにいつてみよう みんなでがつこうをたんけんしよう なにがあるかな? だれがいるかな? いくぞ! がつこうたんけんたい⑩ おしろいなたのしいな えがおのがつきゅう うきうきあそぼう いっしょにできるかな	あそびばにだけよう⑤ みつけたことをしようかいしよう がつこうのまわりをあるいてみよう せわをしよう こうていをたんけんしよう がつこうのひとはなしてみよう たねをまこう どのはなをそだてたいかな?	なつとなかよし⑥ なつのこうていにでてみよう なつはどんなきせつかかな? なつとなかよし⑥ たのしかったことをつたえよう あそびをつくろう みんなであそぼう なにがあるかな?	夏休み ゆとり③	げんきにそだてわたしのはな②学期⑤ みつけたことをしようかいしよう 生きものといふれあおう 生きものにいいこう 生きもの大さき⑥	あきとなかよし⑬ みつけたひみつをつたえよう たねをとろう げんきにそだてわたしのはな②学期⑤ みつけたことをしようかいしよう 生きものといふれあおう 生きものにいいこう 生きもの大さき⑥	ひろがれえがお⑩ みんなであそぼう みつけたあきであそんでみよう みつけたあきをじっくり見よう もっとあきをさがしにいこう あきの校ていに出てみよう あきはどんなきせつかかな? あきとなかよし⑬	冬休み ゆとり②	ふゆとなかよし⑩ あそんだふゆをしようかいしよう ふゆのあそびをくふうしよう ふゆの校ていに出てみよう ふゆはどんなきせつかかな? ふゆとなかよし⑩	もうすぐ2年生⑬ 1年かんをふりかえろう あたらしい1年生をむかえよう できるようになったことをあつめよう	春休み ゆとり②
飼育活動	生き物に触れる (以降継続して関わる) 生き物の世話 (学校の実態に応じて、以後継続して世話)											
栽培活動	野菜の苗植え	花の種まき	夏野菜の収穫	開花 (以降継続して世話・観察)	花の種取り・球根の植え付け	秋野菜の収穫・冬野菜の種まき	冬野菜の収穫	開花 (以後継続して球根の観察)	花の種まき	野菜の苗植え	夏野菜の収穫	開花 (以降継続して世話・観察)
月	4	5	6	7	8	9	10	11		1	2	3
いきいき せいかつ 下	春休み 新しいこといっぱい④ 春の校ていでみんなであそぼう 1年生をむかえよう 新しいわくわくをみんなで話そう	大きくそだてわたしの野さい①学期⑩ たねやなえをうえよう 野さいをそだてよう そだてたい野さいをえらぼう 町たんけんに出かけよう 町たんけんの計画を立てよう 町のことをみんなで話そう とび出せ! 町たんけんたい⑩	せわをしよう はっ見したことをつたえよう 町の人と話してみよう 町たんけんに出かけよう 町たんけんの計画を立てよう 町のことをみんなで話そう とび出せ! 町たんけんたい⑩	みなな生きている⑩ どんな生きものが見つかるかな? 生きものをさがそう 大切にそだてよう はっ見したことを知らせよう 生きものをよく見よう 町たんけんに出かけよう 町たんけんの計画を立てよう 町のことをみんなで話そう とび出せ! 町たんけんたい⑩	夏休み ゆとり①	せいかいでひとつわたしのおもちゃ⑫ あそび方やルールをくふうしよう 自分でおもちゃを作ってみよう うごくおもちゃを考えよう せいかいでひとつわたしのおもちゃ⑫	大きくそだてわたしの野さい②学期② みんなであそぼう あそび方やルールをくふうしよう 自分でおもちゃを作ってみよう うごくおもちゃを考えよう せいかいでひとつわたしのおもちゃ⑫	わたしの野さいをしようかいしよう みのった野さいをしゅうかくしよう 大きくそだてわたしの野さい②学期② みんなであそぼう あそび方やルールをくふうしよう 自分でおもちゃを作ってみよう うごくおもちゃを考えよう せいかいでひとつわたしのおもちゃ⑫	町のすてきを話そう 町の人となかよくなろう 町の人にインタビューしよう 町たんけんの計画を立てよう 町にはどんな人がいるのかな? もっと知りたいたんけんたい⑭	冬休み ゆとり①	ゆとり③ ありがとうをとどけよう 自分のせい長をまとめよう 自分についてしらべよう 大きくなった自分をふりかえろう これまでのわたしこれからのわたし⑭	春休み ゆとり③



# 教師用指導書のご紹介

## 第二部

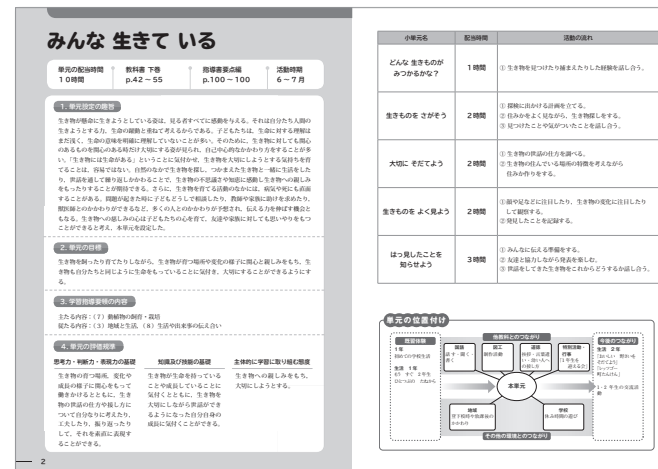
### 要点編 日々の授業のために

教科書と同じ紙面に言葉がけなど役立つ情報が盛り込まれています。  
また、特別な支援が必要な子どもへの留意点を具体的に示しています。



### 研究編 教材研究や授業研究のために

単元設定の趣旨や評価規準、評価の具体例、展開例などを詳細に解説しています。



▲ 単元設定の趣旨など

第一部	・総説
第二部	・要点編 ・研究編 ・スタートカリキュラム編 ・カード集 ・資料編

## NEW

### スタートカリキュラム編

カリキュラム作成の基本から  
実践事例などを掲載しています。



▲ 評価の観点と評価例

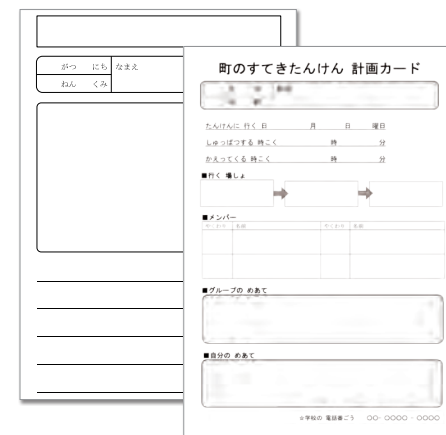
## 第一部

### 総説 (全学年共通)

生活科教育のガイダンスとして、学年をこえた内容、幼保小連携、合科的・関連的な指導、特別支援教育、防災教育などを掲載しています。生活科を初めて指導する先生に、まず最初に手にとってほしい指導書です。

### カード集

子どもが書きやすい、パターン化した汎用性の高いカードや、単元ごとのカードのひな型を準備しています。



### 資料編

自然遊びや昔遊び、飼育・栽培など、すぐ役立つ資料を掲載しています。



### 付録 DVD-ROM

- ・カード集（ワード形式）
- ・全単元評価資料（ワード形式）
- ・年間活動計画（エクセル形式）
- ・教師用デジタル教科書（教材）
- ・QR コンテンツ集

教師用デジタル教科書は、インストールしてご利用いただけます。  
※電子黒板にも対応しています。



▲ 展開例

※指導書の紙面の内容は、作成中のものです。項目を含め、変更になる可能性があります。

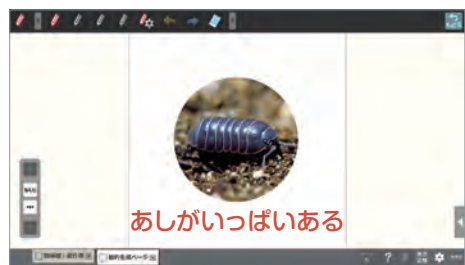


# 児童一人ひとりのための デジタル教科書（学習者用）

新学習指導要領を踏まえた「主体的・対話的で深い学び」のための授業支援として、また、視覚障害、発達障害など、様々な障害等により紙媒体の教科書を使用して学習することが困難な児童の学習支援として、「デジタル教科書（学習者用デジタル教科書）」を通常の紙の教科書に代えて使用することが可能になりました。

※ デジタル教科書 … 紙媒体の教科用図書と同一の内容を記録した電磁的記録である教材のこと。

## 基本的な機能の紹介



### 拡大機能

注目するところ、見たいところを、ピンチアウト操作などで簡単に大きく表示できます。

### 保存機能

書きこみをはじめとする様々な学習履歴が保存されますので、いつでも続きが再開できます。

### ペン機能

様々な線種や色、太さで、どんどんと書きこめます。間違っても簡単に消したり、やり直したりできます。

### QR コンテンツ

紙の教科書にあるQRコンテンツがデジタル教科書でも利用できます。動画やアニメーションなどは、オフラインで利用できます。

この他、お互いの書き込みや意見をスムーズにやり取りするためのツールや、重要な用語やきを暗記するための暗記ペンなど、様々なツールがご利用できます。

## 特別支援に関する機能

紙媒体の教科書のみを使用して学習することが困難な児童のための学習支援機能が充実しました。アクセシビリティを重視し、一人ひとりのニーズに応えます。



音声読み上げ  
(速度調整可)



色の反転・配色変更  
(文字色、背景色等)

かんじ  
漢字

総ルビ表示

## アプリ版

### オフラインでいつでもどこでも使いたい！

タブレット等に専用ビューア、コンテンツをインストールして利用します。  
一部の URL へのリンク機能を除き、教科書画面や QR コンテンツ、オプション購入した各種コンテンツがオフラインでご利用いただけます。



## ブラウザ版

### インストールや更新の手間を抑えたい！

学校等のサーバーにデジタル教科書のデータを配置し、クライアント端末の OS に付属のブラウザで閲覧・操作します。サーバーにデータを配置しますので、インストールや更新作業の手間を抑えることができます。オンライン環境が必要です。



動作環境	学習者用・指導者用とも動作環境は共通です。また、アプリ版・ブラウザ版も同様です。		
対応 OS	Windows		iOS
	Windows 10 (64bit 日本語版) を推奨 ※S モードは対象外 Windows 8.1 (32bit/64bit 日本語版) ※Windows RT は非対応		iOS 11 以上
解像度	1366x768 以上 (1920x1080 程度を推奨)		Retina 解像度の iPad
その他	CPU	Core i3 以上を推奨	対象 タブレット iPad Air2 以上
	メモリ	4GB 以上	
	HDD 空き容量	1GB 以上 + 教材や学習履歴の保存領域	
	画面の表示色数の設定	32 ビットカラー	
ブラウザ版 (機能制限あり)	Chrome, Edge の最新版を推奨 (IE11 は左記ブラウザより速度が低下します。音声読み上げ非対応) ※Web 配信が快適にできる環境 (WindowsServer 2012 以上)		Safari を推奨

・ブラウザ版はネットワーク接続が必須です。・Windows は、マイクロソフト社の登録商標です。・iOS は、Cisco の登録商標です。  
・iPad は、Apple Inc. の登録商標です。 ※画面や機能は現在開発中のため、変更になる場合がございます。予めご了承ください。

## 指導者用デジタル教科書

「学習者用デジタル教科書」は、学習者用端末で利用する児童一人ひとりを対象にしたライセンス商品です。別途、学校内の指導者用端末にインストールでき、授業でクラス内すべての児童を対象に教科書紙面やコンテンツを電子黒板やプロジェクタで拡大提示できるライセンスを有した「指導者用デジタル教科書（教材）」については、教師用指導書付録としてお届けします。



付録 CD にデジタル教科書の機能の紹介動画を収録しています。  
start.html をクリックして、メニューから選んでご覧ください。

体験版や詳しい内容は <https://digi-keirin.com/dtext/seikatsu.html>  
体験版ユーザーアカウント ID: keirin-seikatsu パスワード: Seikatsu2020

教師用指導書







## 81



## 表紙とキャラクターのご紹介



\* QRコードの情報は無料ですが、インターネット接続に必要な費用やパケット通信料などは、使用される方のご負担になります。通信環境をご確認の上、ご利用ください。

### 内容解説資料 付録CD

【start.html】をクリックしてご覧下さい。

- ・教科書、デジタル教科書、教材等のご紹介(動画)
- ・学習指導要領との関連
- ・観点別特色一覧表
- ・年間活動計画

### 教科書のご紹介Webページ

新しくなった啓林館の教科書の魅力を動画で紹介しています。

([https://www.shinko-keirin.co.jp/keirinkan/sho/text\\_2020/seikatsu/](https://www.shinko-keirin.co.jp/keirinkan/sho/text_2020/seikatsu/))



のびっく



ぐるるっち



びんびん



啓林館

<http://www.shinko-keirin.co.jp/>

本社	〒543-0052	大阪市天王寺区大道4丁目3番25号	電話 (06) 6779-1531
東京支社	〒113-0023	東京都文京区向丘2丁目3番10号	電話 (03) 3814-2151
北海道支社	〒060-0062	札幌市中央区南二条西9丁目1番2号サンケン札幌ビル1階	電話 (011) 271-2022
東海支社	〒460-0002	名古屋市中区丸の内1丁目15番20号ie丸の内ビルディング1階	電話 (052) 231-0125
広島支社	〒732-0052	広島市東区光町1丁目7番11号広島CDビル5階	電話 (082) 261-7246
九州支社	〒810-0022	福岡市中央区薬院1丁目5番6号ハイヒルズビル5階	電話 (092) 725-6677